



取扱説明書

CDA-9856Ji MP3/WMA CDヘッドユニット

MP3

4i-NET



BBE



お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター
<一般回線ご利用のお客様用>
TEL : 0570-006636
※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。
<携帯電話等、移動体通信ご利用のお客様用>
TEL : 048-662-6636
- 電話受付時間 土日祝日、弊社休業日を除く9:30~17:30
- 電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせをおすすめします。
FAX : 048-662-6676
- アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>



アルパイン株式会社

Designed by ALPINE Japan

Printed in China (Y-608)

68-04123Z57-B

⚠ 安全にお使いいただくために

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止

ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。



ヒューズ交換は、規定容量（アンペア数）を守ってください。事故・火災の原因になります。



禁止



強制

DC12Vマイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。



強制

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。火災・感電の原因になります。



禁止

前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けしないでください。事故・ケガの原因になります。



禁止

取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。



禁止

音や画面が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、お買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止



強制

運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。



禁止

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。



⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。



禁止

コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



通風孔・放熱板をふさがないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。



禁止

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けしないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。



車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障の原因になります。



車以外には使わないでください。感電・ケガの原因になります。



ディスク挿入口や可動ディスプレイのすきまには、指や異物を入れないでください。ケガ・故障の原因になります。



取り扱い上のご注意（共通）

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

雑音や誤動作の原因になる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをお勧めします。

また、リモコンスターター、カーセキュリティも誤動作の原因になる場合があります。

無理な力を加えない

製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いいたします。

本機は国内で使う

本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

お手入れは乾いた布を使う

お手入れは乾いた布が堅く絞った布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

極端な温度では使わない

車内の温度が極端に高い（炎天下駐車）ときや低い（厳冬期駐車）ときは、常温になってからお使いください。

結露にご注意

寒い車内を急に暖めると、信号読み取り装置のレンズに露がつき誤動作の原因になります。このようなときは、一時間ほどディスクを取り出しておくと正常に動作します。

音飛びについて

路面状況の悪いところを走行しているときに音飛びを起こすことがあります。プレーヤーには影響ありません。車のサスペンションを通常より硬めにしていたり、サスペンションが壊れている場合は、音飛びする頻度が高くなります。

可動部分の動作中は操作をしない

ディスプレイ開閉など、動作中に操作をしないでください。ケガや故障の原因になることがあります。

温度上昇について

可動ディスプレイの裏面が、暖かくなりますが故障ではありません。手をふれないでください。

可動ディスプレイは必ず閉じる

可動ディスプレイが開ききった状態では、走行しないでください。無理な力が加わり故障の原因になります。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは必ずアルパイン専用の「KAE-125C」（別売）を使用してください。「KAE-125C」以外のレンズクリーナーを使用するとレンズの破損や故障の原因となります。

取り扱い上のご注意（CD）

本機で使えるディスクについて

ディスクレーベル面に「CDロゴ」下記マークの入ったものなどJIS規格に合致したディスクをご使用ください。



CD規格外ディスクを使用された場合には安定した再生や最良な音質の保証は致しかねます。

また、本機は音楽専用機器で録音した音楽専用のCD-R（CD-Recordable）／CD-RW（CD-ReWritable）、MP3/WMAファイル形式のCD-R／CD-RWの再生が可能です。

- ・ 次のようなディスクは、再生できないことがあります。指紋やキズが付いている／車内や製品内に長時間放置した／データ書き込み状態が不安定／データ書き込みに失敗し再録音した場合など
- ・ MP3/WMAファイルは本機対応のフォーマットで記憶したディスクを使用してください。詳しくは40ページを参照してください。
- ・ 音楽ファイルの他にROMデータが混在するディスクを再生する場合、データ領域は無音状態になります。

コンパクトディスク（CD/CD-R/CD-RW）の取り扱い

故障や動作不良を起こさないために次の点を守ってお使いください。

盤面にさわらない／直射日光下に置かない／ラベルを貼らない／ホコリやごみが付いたら拭きとる／バリが無いことを確認する／市販のアクセサリを使わない。

特にCD-R/CD-RWは以下の点について十分に注意してください。

車内や製品内に長時間放置しない。特に直射日光下には絶対に放置しない。高温多湿の環境に弱いため、ディスクが劣化し再生不能となる場合があります。

特殊な形状のディスクは使わない

必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。

コンパクトディスクのお手入れ

柔らかいきれいな布で中心から外に向かってやさしく拭き取ってください。

新品のバリに注意

ディスクの側面やセンターホール面にバリ（突起）があると勝手にイジェクトします。このような場合は、ボールペンなどで縁をなぞって突起を取り除いてください。

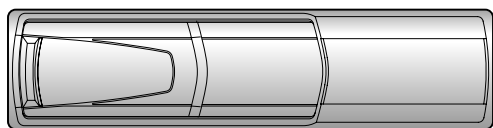
CD-R/CD-RWをご使用のお客様へ

- ・ CD-R/CD-RWが再生できない場合は、クローズセッション（ファイナライズ処理）を行っているかどうか、確認してください。
- ・ 行われていない場合は、クローズセッション（ファイナライズ処理）を行い、再度、お試しください。

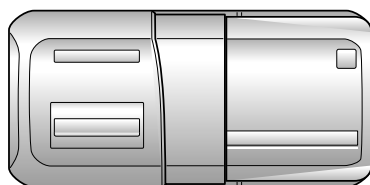
CD規格外ディスクについて

オーディオシステムは音楽CD規格に準拠して設計されています。CCCD（コピーコントロールCD）やSACD（スーパーオーディオCD）などのCD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

CDも、MDも、お気に入りのアルバムは、 アルパインのチェンジャーにスタンバイ！！



CD CHANGER CHA-S634



MD CHANGER MHA-S670

車室内にもセットできる超小型サイズのCD6枚チェンジャーが、
CD-R/CD-RWの再生、さらにMP3再生にも対応して新登場。
人気のMDソースが思う存分楽しめるMDチェンジャーも、大ブレイク。
車室内で“いい音”を楽しむ技術にかけては最先端のアルパイン。
そのヘッドユニットをセンターに、車や聴きたいソースにあわせて
高音質チェンジャーを拡張装備すれば、もっと“いい音”に抱かれる
快適ドライブが実現。アルパインのチェンジャーにプラスして、
あなたも、感動のノンストップデジタルパワープレイを、どうぞこころゆくまで！

別売のKCA-410C (Versatile Link Terminal) と組み合わせると、チェンジャー2台、テレビやビデオなど（外部入力）2台、計4台の製品を接続することができます。



目次

安全にお使いいただくために

警告／注意	2
目次	5



基本操作

基本操作

リセットする	6
電源のON/OFF	6
ディスプレイの開閉	6
音量/バス/トレブル/バランス/フェダー/ディフュージョンの調整	7
セットアップ (SETUP) について	7

CD

CD操作

CD (ディスク) を聴く	8
曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)	8
繰り返し聴く REPEAT (リピート)	9
CDテキストから探す	9
クイックサーチ	9

MP3/WMA

MP3/WMA操作

MP3/WMAを聴く	10
フォルダを選択する	10
フォルダ/ファイルサーチ	11
クイックサーチ	11
MP3/WMA再生データの設定	11
曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)	12
繰り返し聴く REPEAT (リピート)	12

チェンジャー

チェンジャー操作

チェンジャーでMD/CDを聴く	13
-----------------	----

ラジオ

ラジオ操作

ラジオを聴く	14
放送局を記憶する	14
自動的に放送局を記憶する	14
記憶した放送局を受信する	15
道路交通情報を受信する TRF (トラフィックインフォメーション)	15
放送局 (周波数) から探す	15

テキスト

テキスト操作

テキスト/スクロールとは	16
テキストを表示する	16
スクロールの設定	17
スクロールタイプの設定	17

サウンド

サウンド調整

BBEモードの設定	18
低音を強調する (バスセンター周波数)	18
高音を強調する (トレブルセンター周波数)	19

便利な機能

便利な機能

ミュートのON/OFF	20
ディスプレイの明るさ調整	20
時刻を表示する	20
時刻を設定する	21
照明スイッチの色を切りかえる	21
デモンストレーション機能	21

拡張ユニット操作

サブウーハーを接続する	22
サブウーハーシステムの設定	22
外部アンプを接続する	23
光デジタル対応オーディオプロセッサと Ai-NET非対応のDVDプレーヤーを接続する	23
外部入力の設定	24
(Versatile Link Terminal (KCA-410C) 接続時)	24
外部割り込みモードの設定	25

iPod™

iPod™操作

iPod™の曲を聴く	26
聴きたい曲を探す	26
プレイリスト/アーティスト/アルバムを選ぶ	28
クイックサーチ	28
曲順を変えて聴く シャッフル (M.I.X. ミックス)	28
繰り返し聴く REPEAT (リピート)	29
テキストを表示する	29



取り付けと接続

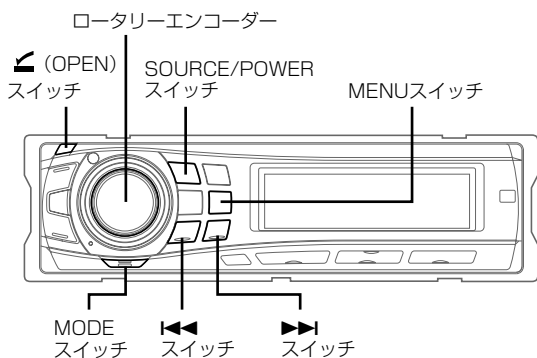
取り付けと接続	30
---------	----

その他

故障かな?と思ったら	35
規格	37
保証について	37
お問い合わせ窓口	38
MP3/WMAについて	40
索引	41



基本操作

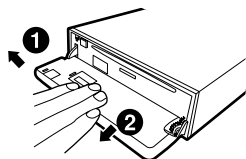


基本操作

リセットする

初めて使うときや、チェンジャー等を取り付けたり車のバッテリーを交換したときは、リセットしましょう。

- 1 電源が切れているか確認する。入っている場合には、「SOURCE/POWER」を2秒以上押して、電源を切る。
- 2 「◀ (OPEN)」を押す。
ディスプレイが開く。
- 3 フロントパネルをしっかりと持ち左方向①にスライドさせた後、手前方向②に移動させ外す。



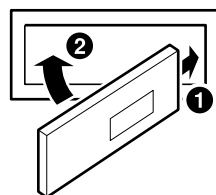
- 4 リセットスイッチをペン先などで押す。



- リセットすると、時刻など記憶した内容が消去されます。もう一度、登録し直してください。セットアップ (SETUP) での設定 (サブウーハーシステムの設定、MP3/WMA再生データの設定を除く) はリセットしたときやバッテリー電源コードをはずしたときでも消去されません。

- 5 右端の角へパネルを斜めに合わせる。

- 6 右側を押さえながら、左端をまっすぐ、そのままゆっくりカチッと音がするまで押し込む。



- フロントパネルを外す時に必要以上の力を加えないでください。故障の原因となります。
- 取り外したパネル（特に裏側端子部）が暖かくなっても故障ではありません。
- 取り外したパネルを取り付ける前にコネクター端子に汚れやほこりがないこと、取り外したパネルとメインユニットの間に異物がないことを確認してください。
- フロントパネルを開いた状態で放置したり車の運転をしないでください。事故・故障の原因になります。

電源のON/OFF

- 1 イグニッションキー（エンジンキー）をACCまたはONにする。
- 2 「SOURCE/POWER」を押す。
電源が入る。
- 3 電源を切るときは、「SOURCE/POWER」を2秒以上押す。

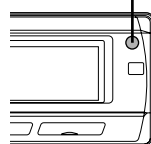


- 電源は「◀ (OPEN)」、「TITLE」、「ロータリーエンコーダー」以外のどのスイッチを押しても入ります。また、CDを挿入すれば電源が入ります。

- 本機はリモートコントロールユニットに対応しています。詳しくは、お買い上げ店にお問い合わせください。

- ・ 別売リモコンで本機を操作する場合は、別売リモコンの送信部をリモコンセンサーに向けてお使いください。

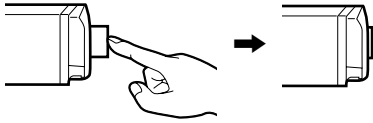
リモコンセンサー部



ディスプレイの開閉

イグニッションキーポジションに関係なく、操作することができます。

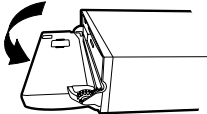
- ロータリーエンコーダーは収納することができます。
ディスプレイを開いたときにロータリーエンコーダーに障害物がある場合などは、ロータリーエンコーダーを押し込んで収納してからディスプレイを開いてください。収納したロータリーエンコーダーを元に戻すには、再度ロータリーエンコーダーを押します。



- SUBW（サブウーハー）が「OFF」に設定されている場合は、SUBWの調整は行えません。（22ページ参照）
- モードを選択して5秒間操作を行わなかった場合、調整モードは解除されます。
- 使用環境によっては、一時的に音量が下がる場合がありますが故障ではありません。
- 製品を長い時間使用していると、製品は徐々に熱くなってきます。温度上昇は異常ではありませんが、煙が出たり変な臭いがした場合は直ちに使用を中止し、お買い上げ店または、サービスセンターにご相談ください。
- 外部オーディオプロセッサ接続時は、ディフューザーができない場合があります。

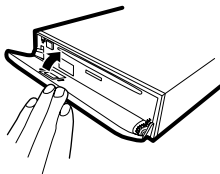
1 「 $\angle$ (OPEN)」を押す。

ディスプレイが開く。



（ディスプレイが開ききった状態）

2 開いたディスプレイを戻すには、カチッと音がするまで手でディスプレイを持ち上げる。



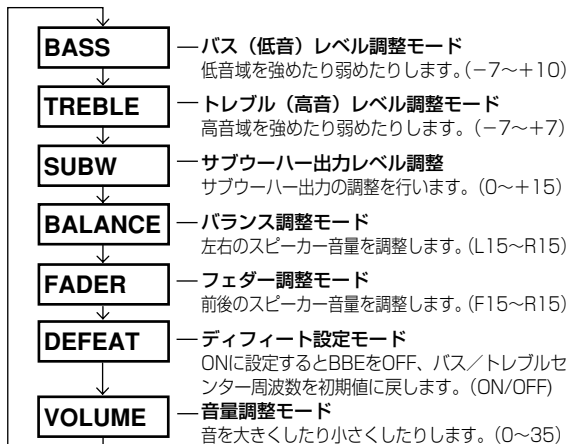
※フロントパネルを閉じる時は、上図のようにフロントパネルの左上側部分を押し込んでください。



- ディスプレイが開ききった状態では走行しないでください。事故・故障の原因になります。

音量/バス/トレブル/バランス/フェダー/ディフューズの調整

1 「MODE」を押して調整したいモードを選ぶ。



2 5秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回転させて、好みのレベルに調整または設定する。

セットアップ (SETUP) について

本機には、さまざまなセットアップ (SETUP) 機能が用意されています。例えば、ディスクテキストなどのスクロール表示を設定する「スクロール設定」など、自分好みの設定に変更することができます。

1 「MENU」を押してSETUPモードを選び、「MODE」を押す。



※1 MX機能を持つ外部オーディオプロセッサ（PKG-H701S など）を接続している場合は、MXにかわります。

2 「 $\blacktriangleleft$ 」または「 $\blacktriangleright$ 」を押して、各設定モードを選び、「MODE」を押す。

3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、設定を行う。

4 設定が終了したら「MENU」を押して通常モード (RETURN)を選ぶ。

2秒後に通常モードに戻る。

「MENU」を2秒以上押すことで通常モードに戻る。

設定項目	参照ページ	切りかえ内容
照光スイッチの色切りかえ	21	BLUE/GREEN/AMBER/RED
ディスプレイの明るさ調整	20	DIMMER AUTO/MANU
サブウーハーON/OFF	22	SUBW ON/OFF
サブウーハーのシステム設定※1	22	SUBW SYS 1/SYS 2
MP3/WMA再生データの設定	11	CDDA/CDDA/MP3
スクロールタイプの設定	17	SCROLL TYPE1/TYPE2
スクロール設定	17	SCROLL MANU/AUTO
外部割り込みの設定	25	MUTE ON/OFF
外部入力の設定	24	AUX IN ON/OFF
AUX表示切りかえ※2	24	AUXILIARY/TV/VTR/GAME
外部デジタル入力の設定	23	D-AUX ON/OFF
外部アンプ接続時の設定	23	POWER IC ON/OFF
デモON/OFF	21	DEMO ON/OFF

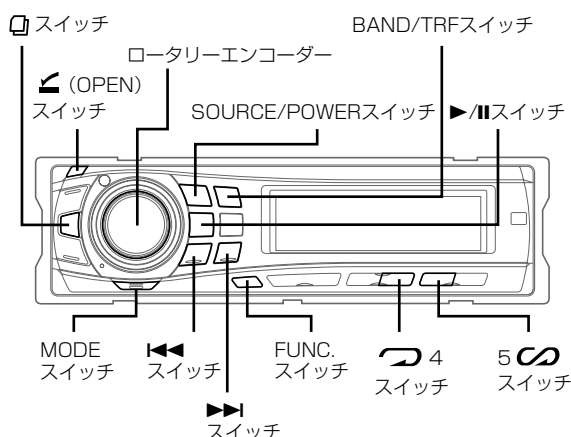
太字部分が工場出荷時の設定ポジションです。

※1 SUBW ONのとき設定可能。

※2 AUX IN ONのとき表示される。



- SETUPモードを選択して60秒間操作を行わなかった場合、SETUPモードは解除されます。
- セットアップ (SETUP) での設定（サブウーハーのシステム設定、MP3/WMA再生データの設定を除く）は、リセットしたときやバッテリー電源コードをはずしたときでも消去されません。



CD操作

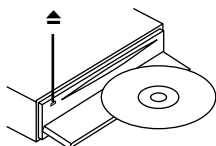
CD (ディスク) を聴く

1 「< (OPEN)」を押して、ディスプレイを開く。

2 ディスクを挿入する。
演奏が始まる。

<挿入時の注意>

- ラベル面を上にする。



- すでにディスクが入っているときは、「SOURCE/POWER」を押して、CDモードにすると演奏が始まります。

→ TUNER → CD → IPOD → CHANGER

※1 iPod接続時のみ
※2 チェンジャー接続時のみ

- CDテキストが入ったディスクなど、ディスクによっては演奏が始まるまで時間がかかる場合があります。
- シングルCD (8cm CD) はそのまま使用できますので、アダプターは使用しないでください。故障の原因となる場合があります。

3 カチッと音がするまで手でディスプレイを持ち上げ、開いたディスプレイを戻す。

4 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、音量 (0～35) を調整する。

5 「<<<」または「>>>」を押して、聴きたい曲を選ぶ。

- 演奏中の曲の頭出し …「<<<」を押す。
- 早戻し ……「<<<」を押し続ける。
- 次の曲の頭出し ……「>>>」を押す。
- 早送り ……「>>>」を押し続ける。

T04

→

T05

・トラックNo.が3桁の場合は、「T」は百の位の数字に変わります。

6 演奏を一時停止するときは、「>||」を押す。
再度「>||」を押すと、演奏が再開する。

7 ディスクを取り出すときは、「< (OPEN)」を押してディスプレイを開き、「>」を押す。
ディスクは必ず取り出す。

8 開いたディスプレイを戻すには、カチッと音がするまで手でディスプレイを持ち上げる。



- ディスプレイが開ききった状態では走行しないでください。事故・故障の原因になります。
- チェンジャー接続時はCDモード時に「BAND/TRF」を押すとチェンジャーモードに切りかわります。

曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)

曲を順不同に演奏させることができます。

1 「5 ∞」を押して、<M.I.X.インジケーター>を点灯させる。

順不同に曲を演奏する。



※ M.I.X. ALL 対応チェンジャーモード時 (MP3対応チェンジャーはM.I.X. ALLに対応していません)

2 解除するには、再度「5 ∞」を押す。



●チェンジャーモード時

- ・「M.I.X.」を指定すれば、ディスクの曲を順不同に全曲演奏し、次のディスクへと移動していきます。
- ・「◎ M.I.X.」(M.I.X. ALL) を指定すれば、1曲ずつディスクを変えながら演奏します。(M.I.X. ALL 対応チェンジャーのみ)
- ・「RPT ◎」(RPT ALL) 演奏中に「M.I.X.」を指定すれば、そのディスク内でのM.I.X.演奏になります。

繰り返し聴く REPEAT (リピート)

気に入った曲や覚えたい曲を繰り返し演奏させることができます。

- 1 演奏中に「**↶4**」を押して、＜RPTインジケーター＞を点灯させる。
選んだ曲を繰り返し演奏する。



(※チェンジャーモード時)

- 2 解除するには、再度「**↶4**」を押す。



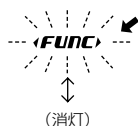
●チェンジャーモード時

- ・「RPT[Ⓢ]」(RPT ALL)を指定すれば、そのディスクを繰り返し演奏させることができます。
- ・M.I.X.演奏中にREPEATモードをONにすると、そのディスク内でのM.I.X.演奏になります。

- チェンジャーモードのとき、
曲順を変えて聴く／繰り返し聴く
上記機能をお使いの場合は、次のように
＜FUNCインジケーター＞を点灯させてから、
10秒以内に各操作手順で行ってください。



- 1 「FUNC.」を押す。



CDテキストから探す

CDテキストから曲（トラック）を検索し演奏させることができます。テキスト未対応のディスク／チェンジャーの場合は、トラックNo.から検索できます。

- 1 演奏中に「**□**」を押す。
テキストが点滅してサーチモードになる。
- 2 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、希望の曲を選ぶ。
点滅しているのが選ばれている曲。
- 3 「MODE」を押す。
選んだ曲を演奏する。



- サーチモード中に「**□**」を2秒以上押す、または10秒間操作を行わないと、サーチモードは解除されます。

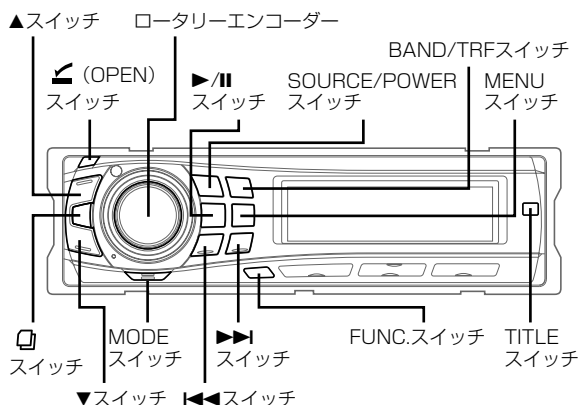
クイックサーチ

素早く簡単に曲（トラック）を選択することができます。

- 1 「**□**」を2秒以上押す。
クイックサーチモードになる。
- 2 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、希望の曲（トラックNo.）を選ぶ。
選んだ曲が演奏される。



- サーチモード中に「**□**」を2秒以上押す、または10秒間操作を行わないと、サーチモードは解除されます。



MP3/WMA操作

本機内蔵のプレーヤーでMP3/WMA再生が行えます。

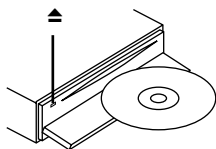
MP3/WMAを聴く

本機で再生できるMP3/WMAは、本機対応のフォーマットで記録されたディスクのみです。詳しくは、「MP3/WMAについて」(40ページ)を参照してください。なお、WMA形式のDRM(著作権管理 Digital Rights Management)システムのWMAファイルは、本機では再生できません。

- 1 「▲ (OPEN)」を押して、ディスプレイを開く。
- 2 MP3/WMAファイルが収録されたディスクを挿入する。
MP3/WMAファイルを検索し、演奏が始まる。
・MP3/WMAのディスクは、記録の状態によっては演奏が始まるまで時間がかかる場合があります。

<挿入時の注意>

- ラベル面を上にする。



- すでにディスクが入っているときは、「SOURCE/POWER」を押して、CDモードにすると演奏が始まります。

→ TUNER → CD → IPOD → CHANGER

※1 iPod接続時のみ
※2 チェンジャー接続時のみ

- 3 カチッと音がするまで手でディスプレイを持ち上げ、開いたディスプレイを戻す。
- 4 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、音量 (0～35) を調整する。

- 5 「◀◀」または「▶▶」を押して、聴きたい曲 (ファイル) を選ぶ。

- 演奏中の曲の頭出し …「◀◀」を押す。
- 早戻し ……………「◀◀」を押し続ける。
- 次の曲の頭出し ……………「▶▶」を押す。
- 早送り ……………「▶▶」を押し続ける。

- 6 演奏を一時停止するときは、「▶/II」を押す。
再度「▶/II」を押すと、演奏が再開する。

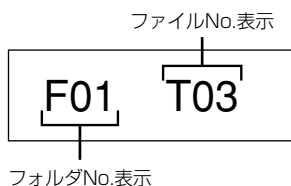
- 7 ディスクを取り出すときは、「▲ (OPEN)」を押してディスプレイを開き、「▲」を押す。
ディスクは必ず取り出す。

- 8 開いたディスプレイを戻すには、カチッと音がするまで手でディスプレイを持ち上げる。



- ディスプレイが開ききった状態では走行しないでください。事故・故障の原因になります。
- MP3/WMAの演奏時に「TITLE」を押すと、ファイル名、フォルダ名、タグ情報などを表示させることができます。
詳しくは、「テキストを表示する」(16ページ)を参照してください。
- 本機はオーディオデータとMP3/WMAデータが混在するディスクでも再生が可能です。
- CDオーディオデータ再生時のトラック表示はディスクに記憶されているトラック番号になります。
- 作成したライティングソフト・MP3変換ソフトによっては再生できない場合があります。その際は他のソフトでお試ください。
- 本機とHDA-5460MS/HDA-5465MS、またはMDA-5060MS/MDA-5065MSを接続した場合、本機から一部の操作 (ソース切り替え、ファイルのアップダウン等) が可能です。
- チェンジャー接続時はCDモード時に「BAND/TRF」を押すとチェンジャーモードに切りかわります。

- MP3/WMA再生時の表示について
次のように表示されます。



- フォルダNo.またはファイルNo.が3桁の場合は、FまたはTは百の位の数字に変わります。
- フォルダNo.の表示はルートフォルダを0とするため、ルートフォルダにファイルがない場合、最初のフォルダは1以降のフォルダNo.表示となります。

フォルダを選択する

- 1 「▲」または「▼」を押して、前後のフォルダを選ぶ。
押し続けると、連続して変化します。

フォルダ／ファイルサーチ

ディスク内のフォルダやファイルを検索し演奏させることができます。

- 1 MP3/WMA演奏中に「**Q**」を押してサーチ選択モードにする。

- 2 「ロータリーエンコーダー」を回転させてサーチモードを選び、「**Q**」を押す。

フォルダサーチモード ↔ ファイルサーチモード

フォルダサーチモード：

ディスク内の全てのフォルダから希望のフォルダを検索します。

ファイルサーチモード：

ディスク内の全てのファイルを検索します。

フォルダサーチ

- 3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、演奏させたいフォルダを選ぶ。
点滅しているのが選ばれているフォルダ。

- 4 「**▶/II**」を押す。
選んだフォルダの1曲目が演奏される。

選んだフォルダ内のファイルを検索するには

- 1 上記手順3でフォルダを選択後、「**Q**」を押して選んだフォルダのファイルサーチモードに切りかえる。
- 2 「ロータリーエンコーダー」を回転させてファイルを選び、「**MODE**」を押す。
選んだファイルが演奏される。

ファイルサーチ

- 3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、演奏させたいファイルを選ぶ。
点滅しているのが選ばれているファイル。

- 4 「**MODE**」を押す。
選んだファイルが演奏される。



- サーチモード中に「**Q**」を2秒以上押す、または10秒間何も操作を行わないと、サーチモードは解除されます。
- ファイルサーチモード中に「**▲**」または「**▼**」を押すと、前後のフォルダを選ぶことができます。
- M.I.X.演奏中は、フォルダ/ファイルサーチはできません。
- フォルダサーチモードで選んだフォルダにファイルがない場合は「NO FILE」と2秒間表示します。
- フォルダ名のないルートフォルダは「ROOT」と表示されます。
- サーチモード中に「**FUNC.**」を押すと、1つ前の項目に戻ります。
- ルートフォルダのみのディスクの場合、フォルダサーチはできません。

クイックサーチ

素早く簡単に曲（ファイル）を選択することができます。

- 1 「**Q**」を2秒以上押す。
クイックサーチモードになる。
- 2 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、希望の曲を選ぶ。
選んだ曲が演奏される。



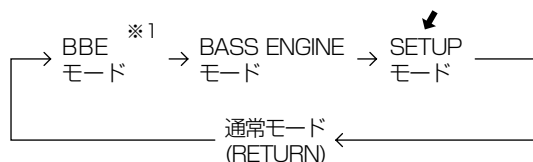
- サーチモード中に「**Q**」を2秒以上押す、または10秒間何も操作を行わないと、サーチモードは解除されます。

MP3/WMA再生データの設定

オーディオデータ（CDDA）のみを再生するか、オーディオデータとMP3/WMAの両方とも再生するか（CDDA/MP3）を設定することができます。

（オーディオデータとMP3/WMAデータ混在ディスク使用時）この設定は、ディスクを挿入する前に行ってください。既にディスクが挿入されているときは、ディスクを取り出してから設定してください。（MP3チェンジャーの場合、ディスクチェンジを行ってください）

- 1 「**MENU**」を押してSETUPモードを選び、「**MODE**」を押す。

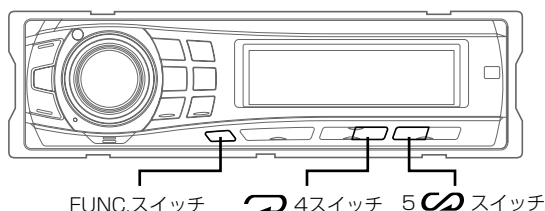


※1 MX機能を持つ外部オーディオプロセッサ（PKG-H701Sなど）を接続している場合は、MXにかわります。

- 2 「**◀◀**」または「**▶▶**」を押して、PLAY MODEを選び、「**MODE**」を押す。
- 3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、DISC選曲範囲を設定する。

CDDA ←→ CDDA/MP3
（工場出荷時の設定）

- 4 設定が終了したら「**MENU**」を押して通常モード（RETURN）を選ぶ。
2秒後に通常モードに戻る。
「**MENU**」を2秒以上押すことでも通常モードに戻る。



曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)

曲を順不同に演奏させることができます。

- 1 「5」を押して、<M.I.X.インジケーター>を点灯させる。

順不同に曲を演奏する。



□ M.I.X. : フォルダ内のみを対象に順不同に演奏する。

◎ M.I.X. : ディスク内の曲を順不同に演奏する。チェンジャーモード時はディスク内の曲を順不同に全曲演奏し、次のディスクへと移動していく。

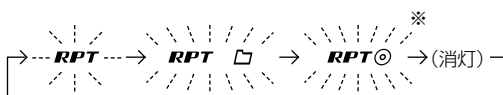
- 2 解除するには、再度「5」を押す。

繰り返し聴く REPEAT (リピート)

気に入った曲や覚えたい曲を繰り返し演奏させることができます。

- 1 演奏中に「4」を押して、<RPTインジケーター>を点灯させる。

選んだ曲を繰り返し演奏する。



(※チェンジャーモード時)

RPT : 1曲のみを繰り返し演奏する。

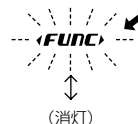
RPT □ : フォルダ内の曲のみを対象に繰り返し演奏する。

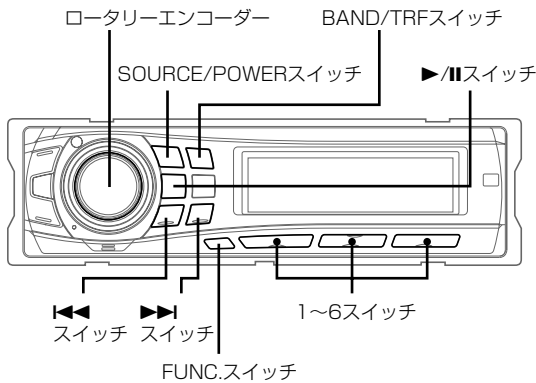
RPT ◎ : そのディスクを繰り返し演奏する。

- 2 解除するには、再度「4」を押す。

●チェンジャーモードのとき、
曲順を変えて聴く／繰り返し聴く
上記機能をお使いの場合は、次のように
<FUNCインジケーター>を点灯させてから、
10秒以内に各操作手順で行ってください。

- 1 「FUNC.」を押す。



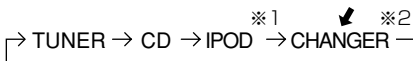


チェンジャー操作

(チェンジャーを接続すると、本機から操作できます。)

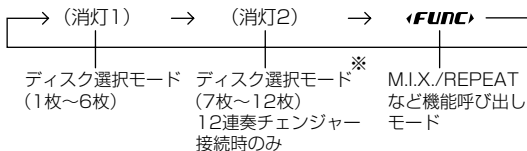
チェンジャーでMD/CDを聴く

- 1 「SOURCE/POWER」を押して、CHANGERモードにする。

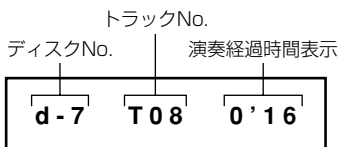


※1 iPod接続時のみ
※2 チェンジャー接続時のみ

- 2 「FUNC.」を押して、ディスク選択モードを選ぶ。



※ ディスク選択モード (7枚～12枚) のときは、ディスプレイ左側のディスクNo.表示部が「d」となります。
12連奏チェンジャー (CHA-1214/CHA-1204)は現在発売されていません。



ディスク選択モード (7枚～12枚) 表示例

- トラックNo.が3桁の場合は、Tは百の位の数字に変わります。

- 3 ディスクNo.を選ぶときは「1」～「6」のいずれかを押す。

消灯1: 「1」～「6」はディスクNo.1～6に相当する。

消灯2: 「1」～「6」はディスクNo.7～12に相当する。

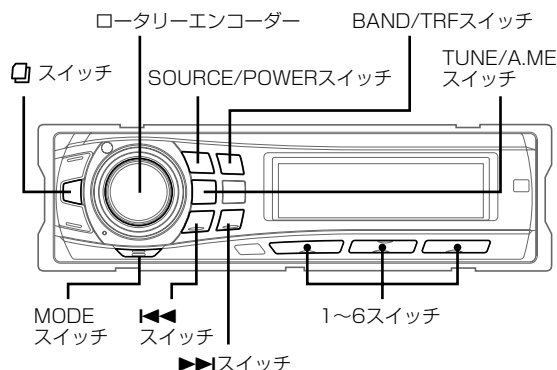
- 4 「1<<<」または「2>>>」を押して、聴きたい曲を選ぶ。

- 5 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、音量 (0～35) を調整する。

- 6 演奏を一時停止するときは、「1/II」を押す。
再度「1/II」を押すと、演奏が再開する。

Memo

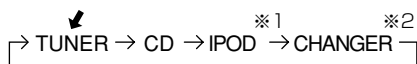
- 曲の早送り／早戻しをするには、「2>>>」または「1<<<」を押し続けます。
- MP3対応チェンジャーを接続した場合、内蔵MP3と同様に操作することができます。
- チェンジャーモードのとき、「曲順を変えて聴く／繰り返し聴くなど」については、CD操作 (8～9ページ)、MP3/WMA操作 (10～12ページ) を参照してください。
- チェンジャーモード時に「BAND/TRF」を押すと、CDモードとチェンジャーモードが切りかわります。
- Versatile Link Terminal (KCA-410C) を使用し、チェンジャーを2台接続している場合は、「BAND/TRF」を押して製品を選びます。



ラジオ操作

ラジオを聴く

- 1 「SOURCE/POWER」を押して、TUNERモードにする。
TUNERモードにするとアンテナが伸びる。(パワーアンテナ装着車のみ)



※1 iPod接続時のみ
※2 チェンジャー接続時のみ

- 2 「BAND/TRF」を押して、バンドを選ぶ。



- 3 「TUNE/A.ME」を押して、チューニングモードを選ぶ。



- 初期設定はディスタンスモードに設定されています。
- ・ ディスタンスモードのとき
受信可能な放送局を自動的に受信します。(自動選局)
- ・ ローカルモードのとき
電波の強い放送局だけを自動的に受信します。(自動選局)
- ・ マニュアルモードのとき
1段階ずつ周波数が変わります。(手動選局)

- 4 「◀◀」または「▶▶」を押して、聴きたい放送局(周波数)を探す。

押し続けると連続で周波数が切りかわる。

- 5 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、音量(0~35)を調整する。

放送局を記憶する

- 1 「ラジオを聴く」を参照して、記憶させたい放送局に周波数を合わせる。
- 2 「1」~「6」のうち1つを2秒以上押す。
押されたNo.に、放送局が記憶される。



- 放送局は18局まで記憶できます。
FM1...6局、FM2...6局、AM...6局
- すでに記憶されているスイッチに記憶させると、後から記憶させた放送局が有効になります。

自動的に放送局を記憶する

- 1 「BAND/TRF」を押して受信したいバンドを表示させる。



- 2 「TUNE/A.ME」を2秒以上押す。
電波の強い順に6つの放送局が自動的に受信されて「1」~「6」に記憶される。記憶が終わると「1」に記憶されている放送局が受信される。



- 放送局を1つも受信できなかったときは、操作の直前に受信していた放送局が受信されます。

記憶した放送局を受信する

- 1 「BAND/TRF」を押してバンドを選ぶ。

→ FM1 → FM2 → AM →

- 2 「1」～「6」のうち1つを押す。

選択した放送局が受信される。

F 1 - 3	8 8 . 1
---------	---------

プリセットNo.表示

(「1」～「6」に記憶されている放送局を受信しているときに表示されます。)

道路交通情報を受信する
TRF (トラフィックインフォメーション)

- 1 「BAND/TRF」を2秒以上押す。
TRFモードになり、AM放送の1620kHz、または1629kHzの交通情報を受信する。

T R F	1 6 2 0
-------	---------

- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、1620kHz/1629kHzを切りかえる。
- 3 解除するには、再度「BAND/TRF」を2秒以上押す。



- CD、チェンジャー、ラジオのいずれかを聴いていても、交通情報を受信できます。

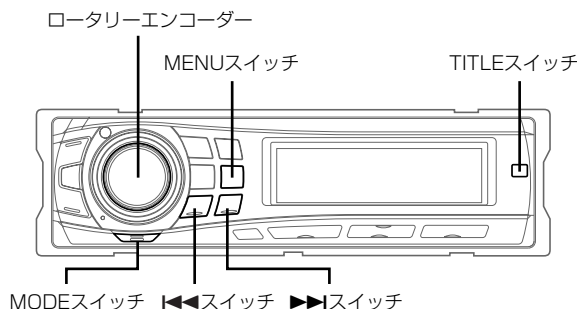
放送局(周波数)から探す

放送局(周波数)から検索することができます。

- 1 「Q」を2秒以上押す。
周波数サーチモードになる。
- 2 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、希望の放送局(周波数)を選ぶ。
- 3 「MODE」を押す。
選んだ放送局が受信される。



- サーチモード中に「Q」を2秒以上押す、または10秒間何も操作を行わないと、サーチモードは解除されます。



テキスト操作

テキスト／スクロールとは

この説明書で使用する「テキスト」、「スクロール」という言葉のちがいについて説明します。

●テキストとは

あらかじめCDに入力されている文字の表示ができることを言います。



マークがついているものにはテキストが入っています。

文字を正確に表示できない場合もあります。

●テキスト入力表示一覧

	オーディオデータ		MP3/WMA	
	入力	表示	入力	表示
テキスト	×	○	×	○
対応文字	英数、記号 (半角)			

- ・MP3/WMAディスクの場合は、フォルダ名／ファイル名／タグ情報の表示ができます。
- ・漢字、ひらがな、カタカナは表示できません。

●スクロールとは

文字を次々と表示させることを言います。本機では、曲が変わったときなどに一回だけスクロールする「マニュアルモード」とスクロールを繰り返す「オートモード」を搭載しています。CDテキストとフォルダ名、ファイル名、タグ表示のみスクロール表示します。

- 「MANU (マニュアル) モード」のとき、再スクロールを行うには (CD/CDチェンジャーモードのとき)

- 1 CDテキストまたは、フォルダ名、ファイル名、タグ表示のとき、「TITLE」を2秒以上押す。

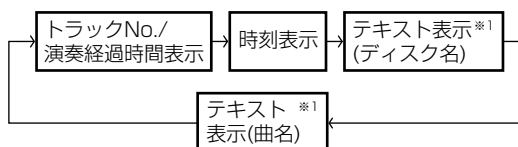


テキストを表示する

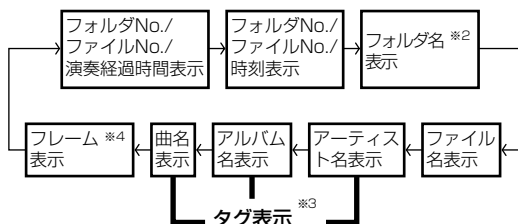
CDテキスト対応の音楽CDの演奏中に、ディスク名／トラック名などを表示させることができます。MP3/WMAファイルを演奏中は、フォルダ名、ファイル名、タグ情報の表示が可能です。

1 「TITLE」を押す。

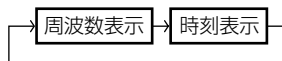
(CDモードのとき)



(MP3/WMAモードのとき)



(TUNERモードのとき)

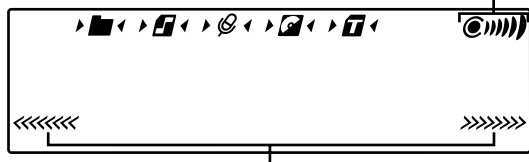


- ※1 CDテキストは半角64文字まで表示可能。CDテキスト対応チェンジャーの場合は半角64文字まで表示可能。
- ※2 フォルダ名のないルートフォルダは「ROOT」と表示される。
- ※3 MP3/WMAファイルにタグ情報が入っていれば、曲名、アルバム名、アーティスト名が表示される (半角30文字 (WMAは半角15文字) まで)。その他の情報や表示可能な文字数を超えた情報は表示されない。スクロールの設定 (17ページ) がAUTOに設定されている場合は、タグ情報が自動で切りかわる。
- ※4 MP3/WMAファイル作成時のサンプリングレートとビットレートを表示する。WMAのVBR (可変ビットレート) ファイルは、平均ビットレート表示になります。

●インジケータ表示について

テキストなどの表示中は、各モードにおいて下記インジケータが点灯します。

通常はバスレベル表示。
BBE設定時は、BBEの設定によって表示が変わります。



通常は総曲数に対する再生中の曲の位置を示します。
表示例は次の通りです。
また、早送りなどの動作の場合などにも点灯します。

<曲の位置表示例>



・例えば、全10曲入っているディスクの5曲目を再生している場合は、と表示されます。

インジケータ /モード	CDモード	MP3/WMAモード	IPODモード
	—	フォルダ名 表示中	—
	—	ファイル名 表示中	—
	—	アーティスト名※ 表示中	アーティスト名※ 表示中
	テキスト (ディスク名) 表示中	アルバム名※ 表示中	アルバム名※ 表示中
	テキスト (曲名) 表示中	曲名表示中※	曲名表示中※

※タグ情報



- CDチェンジャーでテキスト表示するのは、CD-TEXT対応のCDチェンジャーのみです。
- 「タグ」「サンプリングレート」「ビットレート」「ルートフォルダ」については40ページの用語説明を参照してください。
- 表示可能な文字数を超えた情報は表示されません。
- テレビなどの外部音声を割り込ませている時 (INTERRUPT表示中) は、「TITLE」を押して時刻を表示させることができます。
- 漢字／ひらがななど本機で表示できない文字情報の場合、「NO SUPPORT」と表示されます。

2 「」または「」を押して、TEXT SCROLLモードを選び、「MODE」を押す。

3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、スクロールの設定を切りかえる。

SCROLL AUTO $\longleftrightarrow$ SCROLL MANU
(工場出荷時の設定)

4 設定が終了したら「MENU」を押して通常モード (RETURN)を選ぶ。

2秒後に通常モードに戻る。

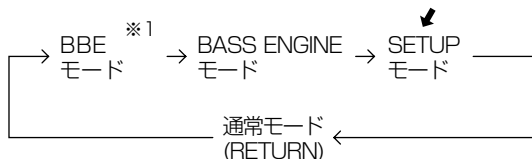
「MENU」を2秒以上押すことでも通常モードに戻る。



- スクロールするのは、CDテキスト／フォルダ名／ファイル名／タグ情報のみです。
- AUTOに設定すると、繰り返しスクロール表示を続けます。また、タグ情報表示モードでは「TITLE」を押さなくとも自動でタグ情報が切りかわります。
- MANUに設定したとき、再スクロールを行うには、CDテキスト／フォルダ名／ファイル名／タグ情報表示中に「TITLE」を2秒以上押します。

スクロールタイプの設定

1 「MENU」を押してSETUPモードを選び、「MODE」を押す。



※1 MX機能を持つ外部オーディオプロセッサ (PKG-H701S など) を接続している場合は、MXにかわります。

2 「」または「」を押して、SCROLL TYPEモードを選び、「MODE」を押す。

3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、スクロールタイプの設定を切りかえる。

TYPE1 $\longleftrightarrow$ TYPE2
(工場出荷時の設定)

TYPE1 : ディスプレイ右側から次々と文字が表示されスクロールする。

TYPE2 : ディスプレイ左側から1文字ずつ表示され、1画面分表示されたら左側から1文字ずつ消えるスクロール。

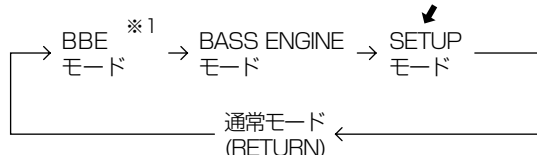
4 設定が終了したら「MENU」を押して通常モード (RETURN)を選ぶ。

2秒後に通常モードに戻る。

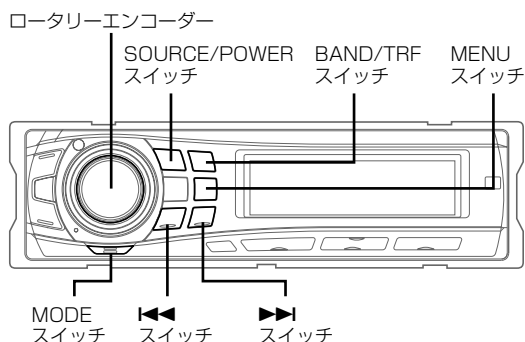
「MENU」を2秒以上押すことでも通常モードに戻る。

スクロールの設定

1 「MENU」を押してSETUPモードを選び、「MODE」を押す。



※1 MX機能を持つ外部オーディオプロセッサ (PKG-H701S など) を接続している場合は、MXにかわります。



サウンド調整

BBEモードの設定

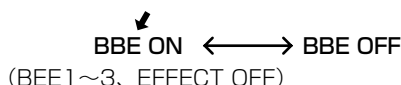
BBE (Barcus Berry Electronics) は、FMラジオ/CD (MP3/WMA含む) など音楽ソースごとにボーカルや各楽器の音を最適化し、走行騒音の多い車内においても音楽をクリアに再生することができます。

- 1 「MENU」を押してBBEモードを選び、「MODE」を押す。



※1 MX機能を持つ外部オーディオプロセッサー (PKG-H701S など) を接続している場合は、MXにかわります。

- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、BBEをONにする。



- 3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、お好みのBBEレベル (1~3, OFF) を選ぶ。

- ・ OFFを選ぶとBBE効果がOFFになる。
- ・ 現在選んでいる音楽ソース (FMラジオ/CDなど) についてのレベル (1~3) を調整できる。

- 4 設定が終了したら「MENU」を押して通常モード (RETURN)を選ぶ。
2秒後に通常モードに戻る。
「MENU」を2秒以上押すことでも通常モードに戻る。



- BASS ENGINEモードを選択して60秒間操作を行わなかった場合、BASS ENGINEモードは解除されます。
- BBEレベルは1→3の順に効果が大きくなります。
- ディフィート (7ページ) がONのときは、操作を受け付けません。
- FMラジオ/CD (MP3/WMA含む) などの各音楽ソースごとに設定することができます。(AMラジオはBBEを設定できません。)
- 手順2の操作で、BBE OFFに設定すると全ての音楽ソースが「BBE OFF」となります。
- MX連動機能を持つオーディオプロセッサー製品 (PKG-H701Sなど) と組み合わせた場合、本機のBBEモードはMXモードにかわり、オーディオプロセッサー側のMX内容と連動させることができます。その場合オーディオプロセッサー側での設定が必要になります。詳しくは、オーディオプロセッサー側の取扱説明書をご覧ください。
その他のオーディオプロセッサーと組み合わせた場合は、連動できません。

低音を強調する (バスセンター周波数)

低音で強調したい周波数を設定/調整することができます。

- 1 「MENU」を押してBASS ENGINEモードを選び、「MODE」を押す。



※1 MX機能を持つ外部オーディオプロセッサー (PKG-H701S など) を接続している場合は、MXにかわります。

- 2 「◀◀」または「▶▶」を押してBASSモードを選ぶ。



- 3 それぞれの設定を行う。

バスセンター周波数の設定

設定した周波数の音域 (低音) を強調する。

(各音楽ソース共通)

- 1 「SOURCE/POWER」を押して、周波数を選ぶ。

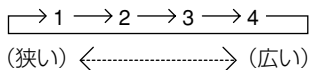
→ 80Hz → 100Hz → 120Hz → 60Hz

バス帯域幅の設定

設定した周波数に対して帯域幅を変更することができます。

(各音楽ソース共通)

- 1 「BAND/TRF」を押して、帯域幅を設定する。



バスレベルの調整

バスレベルを調整することで低音域を強めたり、弱めたりすることができます。

(各音楽ソースごとに調整が可能)

- 1 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、お好みのレベル（-7～+10）を選ぶ。

4 設定が終了したら「MENU」を押して通常モード (RETURN)を選ぶ。

2秒後に通常モードに戻る。

「MENU」を2秒以上押すことでも通常モードに戻る。



- 60秒間、設定／調整の操作を行わずにいると自動的に通常モードに戻ります。
- ディフイートの設定がONのときは、操作を受け付けません。
- バス機能を持たない外部オーディオプロセッサを接続した場合は、調整を行えません。バス機能を持つ外部オーディオプロセッサを接続した場合は、レベル調整のみ行えます。
- 通常モード中に「MODE」を押してバスレベル調整のみ行えます。詳しくは7ページを参照してください。
- バス調整モード中に「◀◀」または「▶▶」を押すと、トレブル調整モードに切りかわります。

高音を強調する（トレブルセンター周波数）

高音で強調したい周波数を設定／調整することができます。

1 「MENU」を押してBASS ENGINEモードを選び、「MODE」を押す。



※1 MX機能を持つ外部オーディオプロセッサ（PKG-H701S など）を接続している場合は、MXにかわります。

2 「◀◀」または「▶▶」を押してTREBLEモードを選ぶ。

BASSモード ←——→ TREBLEモード

3 それぞれの設定を行う。

トレブルセンター周波数の設定

設定した周波数の音域（高音）を強調する。

(各音楽ソース共通)

- 1 「SOURCE/POWER」を押して、周波数を選ぶ。

→ 10.0kHz → 12.5kHz → 15kHz → 7.5kHz →

トレブルレベルの調整

トレブルレベルを調整することで高音域を強めたり、弱めたりすることができます。

(各音楽ソースごとに調整が可能)

- 1 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、お好みのレベル（-7～+7）を選ぶ。

4 設定が終了したら「MENU」を押して通常モード (RETURN)を選ぶ。

2秒後に通常モードに戻る。

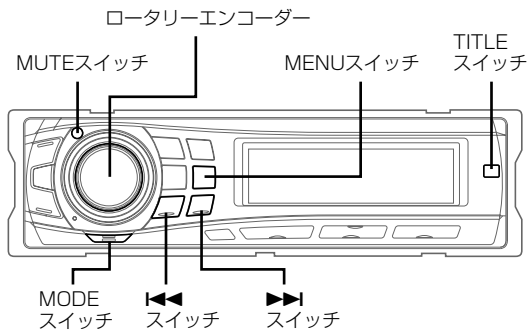
「MENU」を2秒以上押すことでも通常モードに戻る。



- 60秒間、設定／調整の操作を行わずにいると自動的に通常モードに戻ります。
- ディフイートの設定がONのときは、操作を受け付けません。
- トレブル機能を持たない外部オーディオプロセッサを接続した場合は、調整を行えません。トレブル機能を持つ外部オーディオプロセッサを接続した場合は、レベル調整のみ行えます。
- 通常モード中に「MODE」を押してトレブルレベル調整のみ行えます。詳しくは7ページを参照してください。
- トレブル調整モード中に「◀◀」または「▶▶」を押すと、バス調整モードに切りかわります。

サウンド調整機能はプリアウト出力にも有効です。





便利な機能

≡ ユートのON/OFF

- 1 「MUTE」を押す。
瞬時に音量が下がる。
- 2 解除するには、再度「MUTE」を押す。

ディスプレイの明るさ調整

「AUTO」に設定すると、ヘッドライト点灯のとき、照光スイッチとディスプレイが減光します。夜間、照光スイッチやディスプレイが明るすぎる場合には「AUTO」にすることを勧めます。

- 1** 「MENU」を押してSETUPモードを選び、「MODE」を押す。



※1 MX機能を持つ外部オーディオプロセッサ（PKG-H701S など）を接続している場合は、MXにかわります。

- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、DIMMERモードを選び、「MODE」を押す。
- 3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、DIMMERの設定を切りかえる。

DIMMER AUTO ←→ DIMMER MANU
(工場出荷時の設定)

- 4** 設定が終了したら「MENU」を押して通常モード (RETURN)を選ぶ。

2秒後に通常モードに戻る。

「MENU」を2秒以上押すことでも通常モードに戻る。



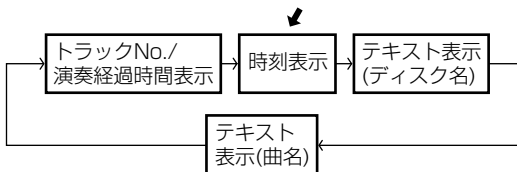
 Memo

- 本機のイルミネーションコードを接続していない場合は、動作しません。
- 「MANUAL」に設定すると、ヘッドライトを点灯しても照光スイッチやディスプレイの明るさは変わりません。

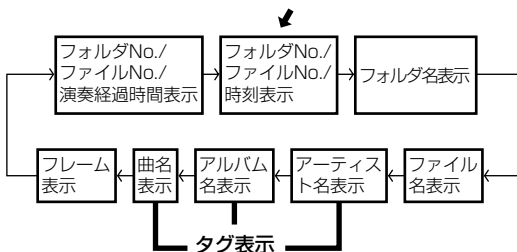
時刻を表示する

- 1** 「TITLE」を繰り返し押して、時刻表示モードを選ぶ。

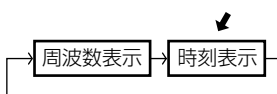
(CDモードのとき)



(MP3/WMAモードのとき)



(TUNERモードのとき)



 Memo

- 時刻を表示している状態で、ラジオ、CDなどを操作すると、行った操作を5秒間表示した後、時刻表示に戻ります。
- 電源がOFF状態でもイグニッションキーがONのとき、「TITLE」を押すと時刻を表示します。

時刻を設定する

- 1 「TITLE」を繰り返し押して時刻表示モードにし、「TITLE」を2秒以上押す。
時刻が点滅して、調整モードに入る。
- 2 5秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回転させて、「時間」を調整する。
「時間」を合わせたら、「MODE」を押す。
- 3 5秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回転させて、「分」を調整する。
「分」を合わせたら、「TITLE」を押す。



- どのモード（CD、ラジオ、チェンジャーなど）でも時刻を設定することができます。
- 時報に合わせたいときは、「時」設定後に「MODE」を長く押すと分表示が00となります。「1:30」を超えた表示のときに「MODE」を長押しすると「時」は繰り上がります。
- 時刻設定モードは、5秒間操作を行わなかった場合、解除されます。

照光スイッチの色を切りかえる

- 1 「MENU」を押してSETUPモードを選び、「MODE」を押す。



※1 MX機能を持つ外部オーディオプロセッサ（PKG-H701S など）を接続している場合は、MXにかわります。

- 2 「1◀◀」または「▶▶1」を押して、ILLUMINATIONモードを選び、「MODE」を押す。

- 3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、色を切りかえる。

BLUE ↔ GREEN ↔ AMBER ↔ RED
(工場出荷時の設定)

- 4 設定が終了したら「MENU」を押して通常モード (RETURN)を選ぶ。
2秒後に通常モードに戻る。
「MENU」を2秒以上押すことも通常モードに戻る。

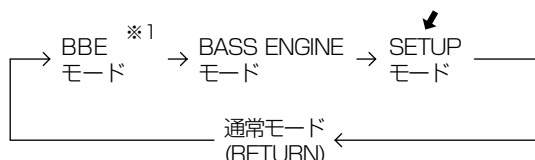


- 照光スイッチの色を切りかえると、本機の照光部全体の色を自動で緑色 (GREEN) または赤色 (RED) に切りかえます。

デモンストレーション機能

本機には、表示の演出のみの動作をディスプレイに表示させるデモンストレーション機能が用意されています。

- 1 「MENU」を押してSETUPモードを選び、「MODE」を押す。

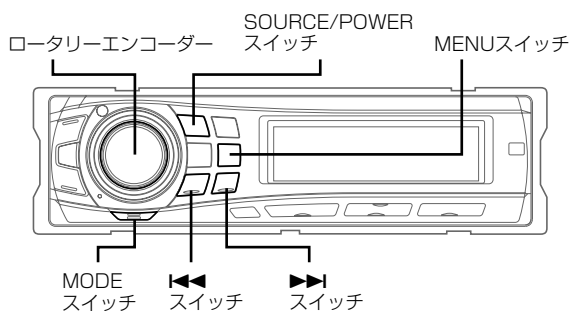


※1 MX機能を持つ外部オーディオプロセッサ（PKG-H701S など）を接続している場合は、MXにかわります。

- 2 「1◀◀」または「▶▶1」を押して、DEMOモードを選び、「MODE」を押す。
- 3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、DEMO ONにする。

DEMO ON ↔ DEMO OFF
(工場出荷時の設定)

- 4 設定が終了したら「MENU」を押して通常モード (RETURN)を選ぶ。
2秒後に通常モードに戻る。
「MENU」を2秒以上押すことも通常モードに戻る。
デモンストレーションモードになる。
・表示の演出のみの動作を自動的に行う。
デモンストレーションをご使用になったら、必ず解除する。



拡張ユニット操作

サブウーハーを接続する

- 1 「MENU」を押してSETUPモードを選び、「MODE」を押す。



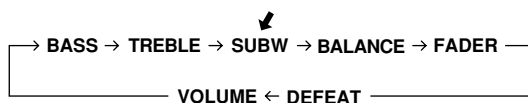
※1 MX機能を持つ外部オーディオプロセッサ（PKG-H701S など）を接続している場合は、MXにかかります。

- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、SUBWOOFERモードを選び、「MODE」を押す。
- 3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、SUBWをONにする。

↓
SUBW ON ←→ SUBW OFF
(工場出荷時の設定)

SUBW ON : サブウーハー出力
SUBW OFF : フロント出力

- 4 設定が終了したら「MENU」を押して通常モード (RETURN)を選ぶ。
2秒後に通常モードに戻る。
「MENU」を2秒以上押すことでも通常モードに戻る。
- 5 「MODE」を押してSUBWモードを選ぶ。



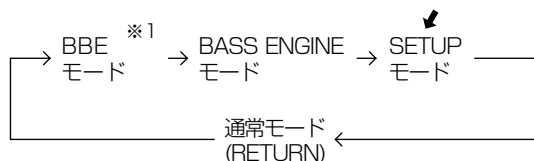
- 6 5秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回転させて、サブウーハー出力のレベル (0~+15) を調整する。



● モードを選択して5秒間操作を行わなかった場合、調整モードは解除されます。

サブウーハーシステムの設定

- 1 「MENU」を押してSETUPモードを選び、「MODE」を押す。



※1 MX機能を持つ外部オーディオプロセッサ（PKG-H701S など）を接続している場合は、MXにかかります。

- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、SUBW SYSTEMモードを選び、「MODE」を押す。

- 3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、システムタイプの設定を切りかえる。

SYS 1 ←→ SYS 2
(工場出荷時の設定)

SYS 1 : 音量と連動してサブウーハー効果が得られる設定。

SYS 2 : 音量が低くてもサブウーハー効果が得られる設定。

- 4 設定が終了したら「MENU」を押して通常モード (RETURN)を選ぶ。

2秒後に通常モードに戻る。

「MENU」を2秒以上押すことでも通常モードに戻る。



● SUBW (サブウーハー) が「OFF」に設定されている場合は、SUBW SYSTEMの設定はできません。

外部アンプを接続する

外部アンプを接続するときは、内蔵アンプの供給電源を止めることで、音質を更に高めることができます。次の手順で「POWER IC OFF」にしてください。

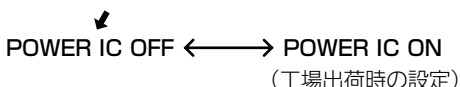
- 1 「MENU」を押してSETUPモードを選び、「MODE」を押す。



※1 MX機能を持つ外部オーディオプロセッサ（PKG-H701Sなど）を接続している場合は、MXにかわります。

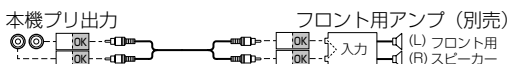
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、POWER ICモードを選び、「MODE」を押す。

- 3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、POWER IC OFFにする。



POWER IC OFF

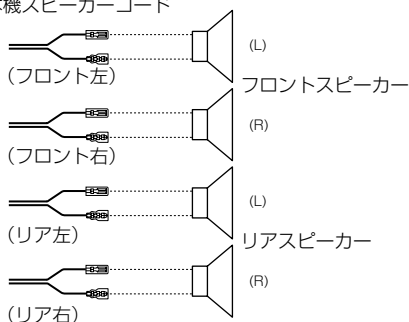
本機のフロントブリ出力と外部アンプをつないで、スピーカーを駆動するときに設定する。このとき、本機のスピーカーコードからは出力されない。



POWER IC ON

内蔵アンプでスピーカーを駆動するときに設定する。

本機スピーカーコード



- このシステムで「OFF」に設定すると音は出ません。
- サブウーハー用外部アンプを接続する場合は、「ON」に設定してください。

- 4 設定が終了したら「MENU」を押して通常モード (RETURN)を選ぶ。

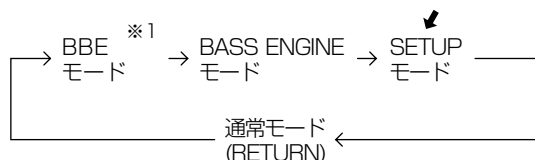
2秒後に通常モードに戻る。

「MENU」を2秒以上押すことでも通常モードに戻る。

光デジタル対応オーディオプロセッサとAi-NET非対応のDVDプレーヤーを接続する

Ai-NET非対応DVDプレーヤー（DVE-5207など）とAi-NET対応デジタルオーディオプロセッサ（PXA-H510、PKG-H701Sなど）を接続した場合に設定します。D-AUX ONに設定すると5.1chドルビーデジタル音声で再生することができます。

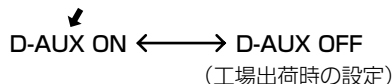
- 1 「MENU」を押してSETUPモードを選び、「MODE」を押す。



※1 MX機能を持つ外部オーディオプロセッサ（PKG-H701Sなど）を接続している場合は、MXにかわります。

- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、DIGITAL AUXモードを選び、「MODE」を押す。

- 3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、D-AUXをONにする。



- 4 設定が終了したら「MENU」を押して通常モード (RETURN)を選ぶ。

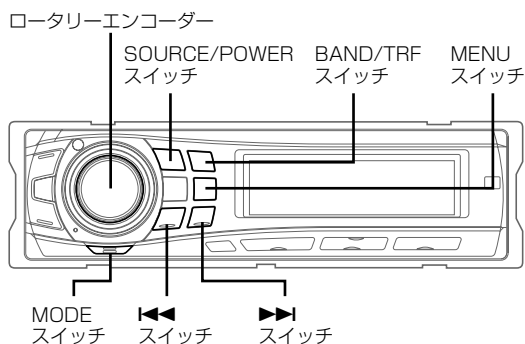
2秒後に通常モードに戻る。

「MENU」を2秒以上押すことでも通常モードに戻る。

- 5 「SOURCE/POWER」を押して、D-AUX（デジタル外部入力）モードを選び、音量などを調整する。



- 設定終了後、一度ACCをOFFにしてから再度ACC ONにしてください。光デジタル入力切りかえの設定が確定されます。
- 接続する外部オーディオプロセッサによっては、他のソースに切りかえてもDVDプレーヤーの音が出たままになります。その場合はDVDプレーヤーの電源をOFFにしてください。



外部入力の設定

別売のAi-RCA変換ケーブル (KCA-121B) と組み合わせるとRCA音声出力を持つテレビやビデオを本機に入力させることができます。

- 1 「MENU」を押してSETUPモードを選び、「MODE」を押す。



※1 MX機能を持つ外部オーディオプロセッサ (PKG-H701S など) を接続している場合は、MXにかわります。

- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、AUX INモードを選び、「MODE」を押す。
- 3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、ONにする。

AUX IN OFF ← → AUX IN ON
(工場出荷時の設定)



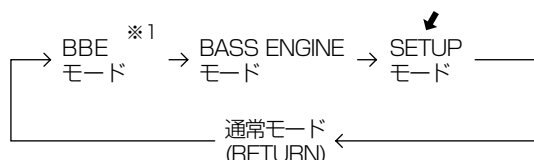
●AUX INをONにした後に「◀◀」または「▶▶」で、(AUX NAME) を選び「MODE」を押します。その後、「ロータリーエンコーダー」を回してAUXモード時の「表示」を設定することができます。
例えば、テレビの時は「TV」、ゲームの時は「GAME」など本機側の表示を設定することができます。

- 4 設定が終了したら「MENU」を押して通常モード (RETURN)を選ぶ。
2秒後に通常モードに戻る。
「MENU」を2秒以上押すことでも通常モードに戻る。
- 5 「SOURCE/POWER」を押して、AUX (外部入力) モードを選び、音量などを調整する。

外部入力の設定 (Versatile Link Terminal (KCA-410C) 接続時)

別売のVersatile Link Terminal (KCA-410C) と組み合わせるとRCA音声出力を持つテレビやビデオを2台まで本機に入力させることができます。

- 1 「MENU」を押してSETUPモードを選び、「MODE」を押す。



※1 MX機能を持つ外部オーディオプロセッサ (PKG-H701S など) を接続している場合は、MXにかわります。

- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、AUX INモードを選び、「MODE」を押す。
- 3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、ONにする。

AUX IN OFF ← → AUX IN ON
(工場出荷時の設定)



●AUX INをONにした後に「◀◀」または「▶▶」で、(AUX 1 NAMEまたはAUX 2 NAME) を選び「MODE」を押します。その後、「ロータリーエンコーダー」を回してAUX1、2モード時の「表示」を設定することができます。

- 4 設定が終了したら「MENU」を押して通常モード (RETURN)を選ぶ。
2秒後に通常モードに戻る。
「MENU」を2秒以上押すことでも通常モードに戻る。
- 5 「SOURCE/POWER」を押して、AUX (外部入力) モードを選ぶ。
- 6 「BAND/TRF」を押して、接続された製品を選ぶ。

外部割り込みモードの設定

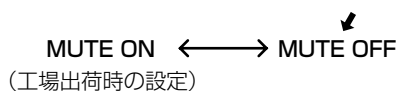
別売のAi割り込みBOX（NVE-K200）/Versatile Link Terminal（KCA-410C）/Ai-RCA変換ケーブル（KCA-121B）などと組み合わせると、音楽CD再生対応ナビゲーションでのCD音声やテレビの音声を本機に割り込ませることができます。組み合わせる製品によっては、利用できない場合があります。詳しくは組み合わせる製品の説明書を参照してください。

- 1 「MENU」を押してSETUPモードを選び、「MODE」を押す。

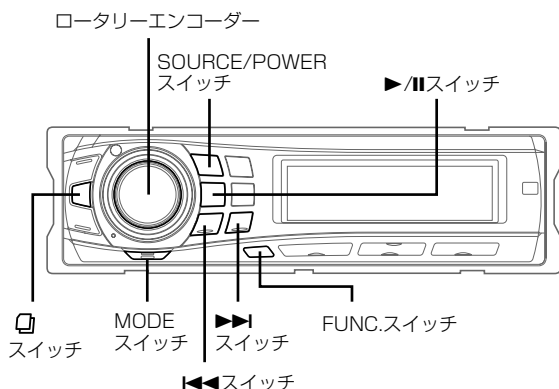


※1 MX機能を持つ外部オーディオプロセッサ（PKG-H701S など）を接続している場合は、MXにかわります。

- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、INT MUTEモードを選び、「MODE」を押す。
- 3 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、MUTE OFFにする。



- 4 設定が終了したら「MENU」を押して通常モード (RETURN)を選ぶ。
 2秒後に通常モードに戻る。
 「MENU」を2秒以上押すことでも通常モードに戻る。



iPod™操作

iPod™/iPod™ mini/iPod™ nanoを付属のFULL SPEED™ CONNECTION CABLEを使用して本機に接続すると、本機から操作することができます。その際、iPodからの操作はできなくなります。

- iPodの機能については、iPodユーザーズガイドを参照してください。
- 別売のINTERFACE ADAPTER FOR iPod™ (KCA-420i) を使用しての接続は推奨しておりませんので、ここでは付属のFULL SPEED™ CONNECTION CABLEを使用して本機とiPodを接続した場合について説明します。

本機対応のiPod™について

- 本機は、第3世代以降のiPod™/iPod™ photo、iPod™ mini、iPod™ nanoに対応しております。iPod™ shuffleには対応していません。
- Dockコネクタに対応していないタッチホイール、スクロールホイールタイプのiPodは、本機に接続することはできません。
- 本機で対応しているiPodのバージョンは次の通りです。これ以前のバージョンの動作保証および性能保証は致しかねます。
 第3世代iPod : Ver 2.3
 第4世代iPod : Ver 3.0.2
 iPod photo : Ver 1.0
 iPod mini : Ver 1.3
 iPod nano : Ver 1.0
- 本機はiPod Update 2005-02-22より前のソフトウェア・バージョンには対応していません。「iPod ソフトウェア・アップデート」について詳しくは、iPodユーザーズガイドを参照してください。

iPod™の曲を聴く

- 1 「SOURCE/POWER」を押して、IPODモードにする。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、聴きたい曲を選ぶ。
 - 演奏中の曲の頭出し ……「◀◀」を押す。
 - 早戻し ……「◀◀」を押し続ける。
 - 次の曲の頭出し ……「▶▶」を押す。
 - 早送り ……「▶▶」を押し続ける。
- 3 演奏を一時停止するときは、「▶/||」を押す。再度「▶/||」を押すと、演奏が再開する。



● 再生中のiPodを本機と接続すると、今まで聞いていた曲の続きから再生を行います。

聴きたい曲を探す

iPodには数百曲・数千曲が入るため聴きたい曲を探し出すのが大変です。そのため、本機ではさまざまな検索が可能になっています。



- サーチモード中に「◻」を2秒以上押す。または10秒間何も操作を行わないと、サーチモードは解除されます。また、サーチモード中に「FUNC.」を押すと、1つ前の項目に戻ります。
- 日本語表示や全角文字など本機で対応していない文字情報の場合、「NO SUPPORT」と表示されます。
- M.I.X.演奏中は、サーチすることができません。

Playlist (プレイリスト) から探す

- 1 「◻」を押してサーチ選択モードにする。
- 2 「ロータリーエンコーダー」を回してPLAYLISTサーチモードを選び、「◻」を押す。

→ PLAYLIST ↔ ARTIST ↔ ALBUM ↔ SONG ←
- 3*1 「ロータリーエンコーダー」を回してPlaylistを選ぶ。
- 4 「▶/||」を押す。
選んだPlaylistが再生される。

選んだPlaylistの中の曲を検索するには

- 1 上記手順3*1でPlaylist選択後、「◻」を押して選んだPlaylistのSONGサーチモードに切りかえる。
- 2 「ロータリーエンコーダー」を回して曲を選び、「MODE」を押す。
選んだ曲が再生される。

**Memo**

- 手順3*1でiPodに登録されている「iPod名」を選択すると、iPod内の全ての曲の再生を行います。
- PLAYLISTサーチモードで、選択したPlaylistに曲が入っていない場合は、「NO SONG」と表示されます。

アーティスト名から探す

- 1 「**Q**」を押してサーチ選択モードにする。
- 2 「ロータリーエンコーダー」を回してARTISTサーチモードを選び、「**Q**」を押す。



- 3*2 「ロータリーエンコーダー」を回してアーティストを選ぶ。
- 4 「▶/II」を押す。
選んだアーティストの曲が全曲再生される。

選んだアーティストの中のアルバムを検索するには

- 1 上記手順3*2でアーティスト選択後、「**Q**」を押して選んだアーティストのALBUMサーチモードに切りかえる。
- 2*1 「ロータリーエンコーダー」を回してアルバムを選ぶ。
- 3 「▶/II」を押す。
選んだアルバムの曲が全曲再生される。

選んだアルバムの中の曲を検索するには

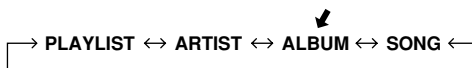
- 1 上記手順2*1でアルバム選択後、「**Q**」を押して選んだアルバムのSONGサーチモードに切りかえる。
- 2 「ロータリーエンコーダー」を回して曲を選び、「MODE」を押す。
選んだ曲が再生される。

**Memo**

- 手順3*2でALLを選び「▶/II」を押すと、iPod内の全ての曲の再生を行います。ALLを選び「**Q**」を押すと、全てのアーティストのALBUMサーチモードになります。
- 手順2*1でALLを選び「▶/II」を押すと、選んだアーティストの全ての曲の再生を行います。ALLを選び「**Q**」を押すと、選んだアーティストのSONGサーチモードになります。

アルバム名から探す

- 1 「**Q**」を押してサーチ選択モードにする。
- 2 「ロータリーエンコーダー」を回してALBUMサーチモードを選び、「**Q**」を押す。



- 3*3 「ロータリーエンコーダー」を回してアルバムを選ぶ。
- 4 「▶/II」を押す。
選んだアルバムが全曲再生される。

選んだアルバムの中の曲を検索するには

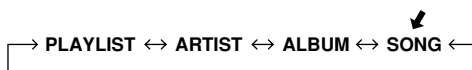
- 1 上記手順3*3でアルバム選択後、「**Q**」を押して選んだアルバムのSONGサーチモードに切りかえる。
- 2 「ロータリーエンコーダー」を回して曲を選び、「MODE」を押す。
選んだ曲が再生される。

**Memo**

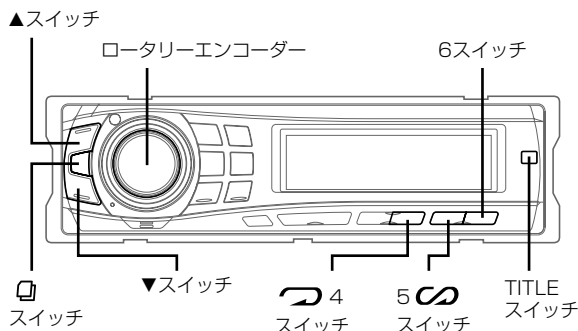
- 手順3*3でALLを選び「▶/II」を押すと、iPod内の全ての曲の再生を行います。ALLを選び「**Q**」を押すと、全てのアルバムのSONGサーチモードになります。

曲名から探す

- 1 「**Q**」を押してサーチ選択モードにする。
- 2 「ロータリーエンコーダー」を回してSONGサーチモードを選び、「**Q**」を押す。



- 3 「ロータリーエンコーダー」を回して曲を選び、「MODE」を押す。
選んだ曲が再生される。



プレイリスト／アーティスト／アルバムを選ぶ

簡単な操作でプレイリスト／アーティスト／アルバムを切りかえることができます。

例えば、任意のアルバムに絞り込んでお聞きの場合は、アルバムを切りかえることができます。

- 1 「▲」または「▼」を押して聴きたいプレイリスト／アーティスト／アルバムを選ぶ。



- サーチを行っていない、またはSONGサーチのみしか行っていない場合は、操作できません。
- アーティストサーチからアルバムを絞り込んだ場合は、アルバムが対象となります。
- シャッフル (M.I.X.) 演奏中は、操作できません。

クイックサーチ

簡単にiPod内の曲 (ファイル) を選択することができます。

- 1 「□」を2秒以上押す。
クイックサーチモードになる。
- 2 「ロータリーエンコーダー」を回して、希望の曲を選ぶ。
選んだ曲が演奏される。



- iPod内の曲が多い場合は、サーチするときに時間がかかることがあります。
- サーチモード中に「□」を2秒以上押す。または10秒間何も操作を行わないと、サーチモードは解除されます。

曲順を変えて聴く シャッフル (M.I.X. ミックス)

iPodのシャッフル機能は、ヘッドユニットではM.I.X.と表示されます。

シャッフル・アルバム (M.I.X. ALBUM) :

iPod内のアルバムをランダムに選択し、アルバムの曲の順番通りに演奏する。

あらかじめプレイリスト・アーティストサーチモードで曲が選択されていた場合、そのプレイリスト・アーティスト内のアルバムをランダムに選択し、アルバムの曲の順番通りに演奏する。

シャッフル・曲 (M.I.X. SONG) :

プレイリスト・アーティスト・アルバムサーチモードで曲を選択した場合に、そのプレイリスト・アーティスト・アルバムの曲を全曲、順不同に演奏する。

- 1 「5」を押して、<M.I.X.インジケーター>を点灯させる。
順不同に曲を演奏する。



- 2 解除するには、上記手順で<M.I.X.インジケーター>を消灯させる。



- サーチモードについて詳しくは「聴きたい曲を探す」(26ページ)を参照してください。
- アルバムサーチモードで曲を選んでいった場合、シャッフル・アルバムを選択してもシャッフル (M.I.X.) 再生されません。

シャッフル・ALL (M.I.X. ALL) :

iPod内の全曲を順不同に演奏する。

- 1 「6」を押して、<M.I.X.インジケーター>を点灯させる。
順不同に曲を演奏する。



- 2 解除するには、上記手順で<M.I.X.インジケーター>を消灯させる。



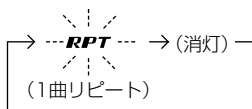
- シャッフル・ALL (M.I.X. ALL) を選択すると、サーチで選択した再生中の内容は解除されます。

繰り返し聴く REPEAT (リピート)

iPodモードでのリピート機能は1曲リピートのみになりません。

- 1 「**つ4**」を押して、<RPTインジケーター>を点灯させる。

選んだ曲を繰り返し演奏する。



- 2 解除するには、上記手順で<RPTインジケーター>を消灯させる。



Memo

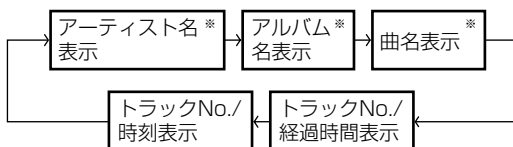
- リピート再生中は**⏮**、**⏭**を押して他の曲を選ぶことはできません。

テキストを表示する

iPodの曲（ファイル）のタグ情報を表示させることができます。

- 1 「**TITLE**」を押す。

タグ情報が表示される。



※ タグ表示
スクロールの設定（17ページ）がAUTOに設定されている場合は、タグ情報が自動で切りかわります。



Memo

- 半角英数記号（ASCII）のみ、表示することができます。
- iTunesでアーティスト名、アルバム名、曲名を設定するときに、文字数が多くなると本機接続時に曲が再生されない場合があります。250文字以内に設定することをお勧めします。詳しくはインフォメーションセンターにお問い合わせください。ただし、ヘッドユニットで表示可能な文字数は128文字（128byte）までになります。
- 文字を正確に表示できない場合があります。
- プレイリスト名を表示させることはできません。
- 日本語表示や全角文字など本機で対応していない文字情報の場合、「NO SUPPORT」と表示されます。



取り付けと接続

取り付けや接続の作業を行う前には、必ず2～3ページをよくお読みの上、正しい作業をしてください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。

1. 正しい作業のコツ

- ここからの説明は、**専門技術と経験のある方を対象**にしています。
- 車のインパネなどの「取り付け取り外し情報」を販売店から入手してください。
- 動作確認の際に本機の操作を行いますので、本説明書の操作説明部も必ずお読みください。
- 組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
- 一部の車種（外国車など）では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。詳しくは、ディーラーへお問い合わせください。
- 接続の際は、コードに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- 音声出力ケーブルを接続するときは、コード端子の色とターミナルの色を合わせてください。

・RCAコード、ピンコード

家庭用機器の信号の受け渡しに利用されるRCA考案のコネクター付きコードをいいます。カーオーディオはもちろん家庭のステレオ／ビデオ／テレビ等に幅広く採用されています。白がオーディオの左チャンネル、赤が右チャンネル、黄色がビデオ信号です。

9) スピーカーの接続

●純正のスピーカー用コードを使う場合、左右のコードのマイナス側が共通になっているものには使用できません。

●スピーカーは、インピーダンスが3.2～8Ωのものをお使いください。

10) 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻いてください。

11) 取り付け場所について

CDの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を設定してください。

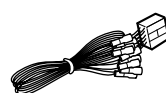
12) 水平に対して35度以内に取り付けてください。

13) 不明な点はお買い上げ店／インフォメーションセンターにお問い合わせください。

2. 準備

- 車を平坦で安全な場所に停める。さらに、パーキングブレーキをかけ、イグニッションキーを抜く。
- 付属部品を確認し、工具／取り付け情報をそろえる。

電源コード



サラネジ
(M5×8)



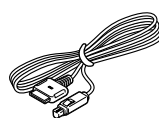
×4

バインドネジ
(M5×8)



×4

FULL SPEED™
CONNECTION CABLE
(2m)



- バッテリーのマイナス端子を外す。
- 灰皿、小物入れなどを外し、パネル（インパネ）を外す。
- 車から取り付けブラケットごとカーオーディオを外す。
- オーディオに付いているケーブルを外し、ブラケットからオーディオを外す。（ブラケットは、**4. 取り付け**の2.で利用します。）

3. 接続する

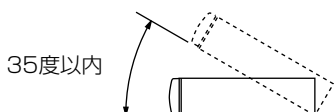
- 32ページの基本接続図を参照して接続する。
 - 他の製品と組み合わせた接続例も記載しています。御希望の組み合わせを確認しながら作業を進めてください。
 - 誤接続を防ぐために、接続することに✓点をつけてください。
- ヘッドユニットに電源コードを接続する。
「カチッ」と音がするまで差し込む。
- 正しく接続されているか、✓点がもれているところはないか確認する。
- バッテリーマイナス端子を接続する。
- イグニッションキーをONIにして本機電源を入れ、音が正しく出ているかなどを確認する。
 - 固定する前に動作確認しておけば安心です。正しい動作をしない場合は、もう一度接続を確認してください。
- 本機の電源を切る。
- イグニッションキーを抜いて、バッテリーマイナス端子を外す。



4. 取り付ける

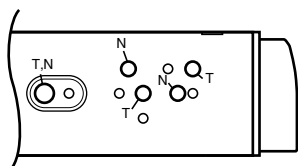
取り付けの際は必ず、フロントパネルを付けた状態で行ってください。フロントパネルを外した状態で取り付けると故障の原因となります。

1. CDの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を決める。

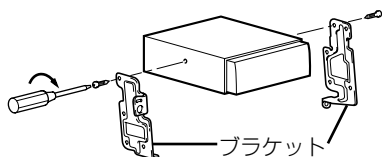


2. 本機にブラケットを付属のネジでしっかり取り付ける。

取り付け用ネジ穴



N穴→ニッサン車専用
T穴→トヨタ・ミツビシ車専用



3. 「ブラケットと一体になった本機」を車両にしっかり取り付ける。
4. インパネを取り付ける。
5. コード類を固定する。
シートレールなどの可動部に挟み込んだり、突起部に当たったりして、コードを傷めないように注意して固定する。
6. バッテリーマイナス端子を接続する。



Memo

- 車両雑音から守るために
 - ・アースコードを車体の金属部分に確実につなぐ。
 - ・本機や本機からのコードを車両配線から離す。
 - ・バッテリー電源コードとPINコードは離す。
 - ・ノイズサプレッサーを使う場合は、できるだけ本機から離す。

5. 確認する

1. イグニッションキーをONにして、本説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。
2. ホーン（クラクション）、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。



Memo

IN-INTの接続について

IN-INTコードは次の組み合わせ時に使用します。

- 音声認識対応のナビゲーションと組み合わせる。
音声認識対応のナビゲーションのミュートコードに接続します。
音声認識操作のとき本機の音量をミュートさせます。
詳しくはナビゲーション側の説明書を参照してください。
- OUT-INT対応の製品と組み合わせる
Ai割り込みBOX（NVE-K200）、またはAi-RCA変換ケーブル（KCA-121B）などとOUT-INT対応のTV（TVE-T038など）を組み合わせ使用するとき接続します。
TVの音声を本機に割り込ませます。
詳しくは組み合わせる製品の説明書を参照してください。

スイッチ切りかえについて

スイッチを理解する。

取り付け前やシステムアップを行うとき、スイッチの切りかえが必要になる場合があります。

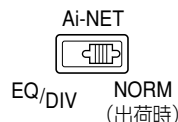
切りかえは次の手順で行ってください。

- 1) 電源コードを抜く。
- 2) 棒状のものを垂直に挿入する。
- 3) 指定のポジションに切りかえる。
- 4) 電源コードを接続する。

システムスイッチ

本機にAi-NET対応のイコライザーやオーディオプロセッサー等を接続するときは、「EQ/DIV」側に切りかえます。

（本機の底面部）



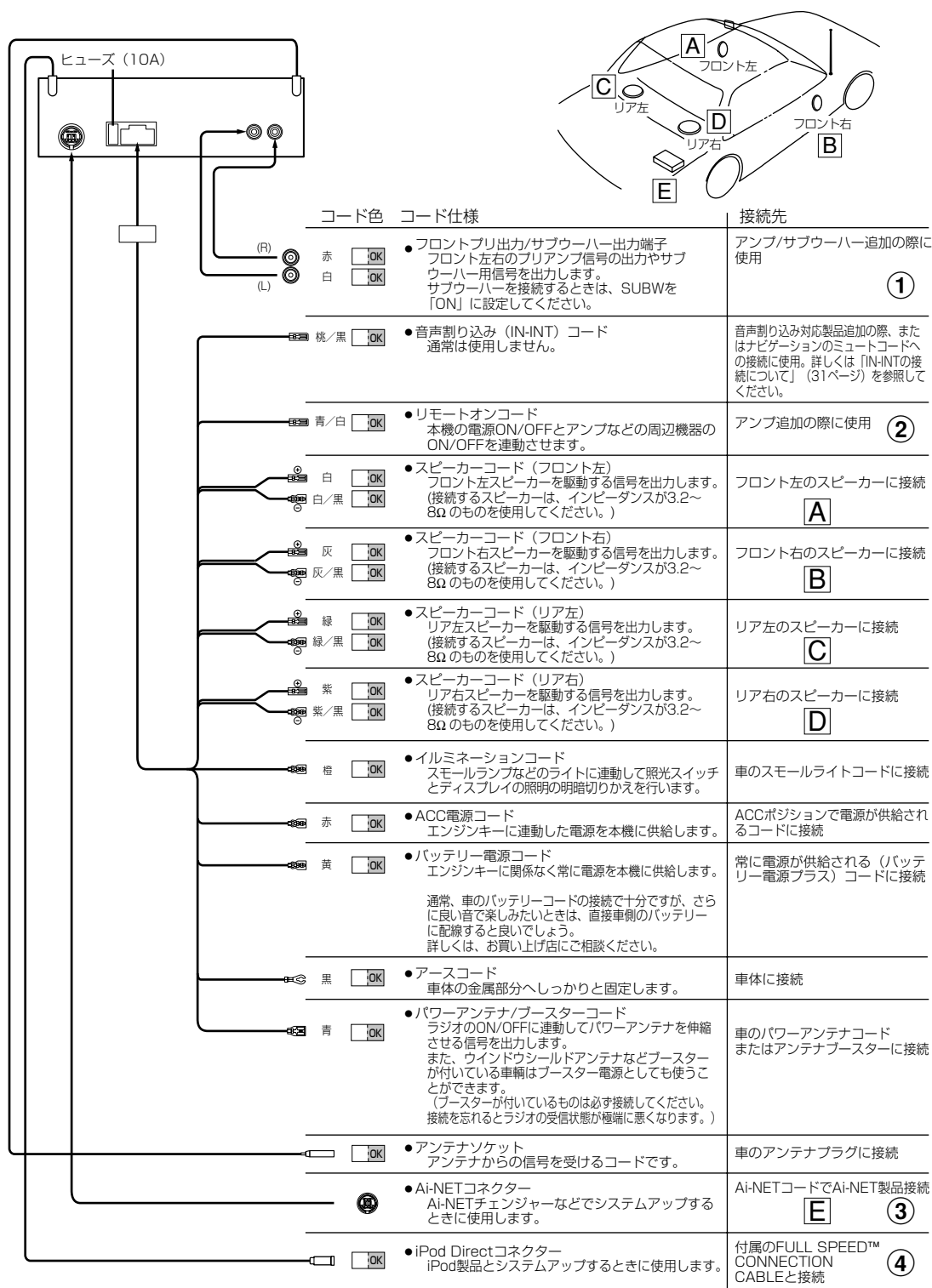
Memo

- チェンジャーのみを接続する（Ai-NET対応イコライザーを使わない）場合、システムスイッチは「NORM」に設定してください。



取り付けと接続

基本接続図



● 上記接続先の丸番号は、6.システムアップの例で使用します。



6. システムアップの例

重要

- オーディオプロセッサ（PKG-H701Sなど）と組み合わせる場合には、システムスイッチの切りかえが必要になります。
- 正しい切りかえを行わないと、爆音など、不具合が発生します。
- 詳しくは、「スイッチ切りかえについて」（31ページ）を参照してください。

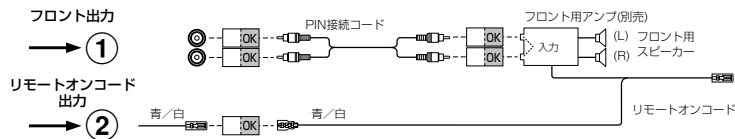


1) 外部アンプを接続する

システムスイッチ	NORM
----------	------



- 外部アンプを接続するときは、内蔵アンプの供給電源を止めることで、音質を更に高めることができます。詳しくは「外部アンプを接続する」（23ページ）を参照してください。

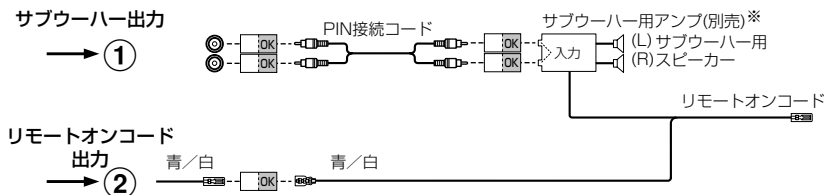


2) サブウーハーアンプを接続する

システムスイッチ	NORM
----------	------



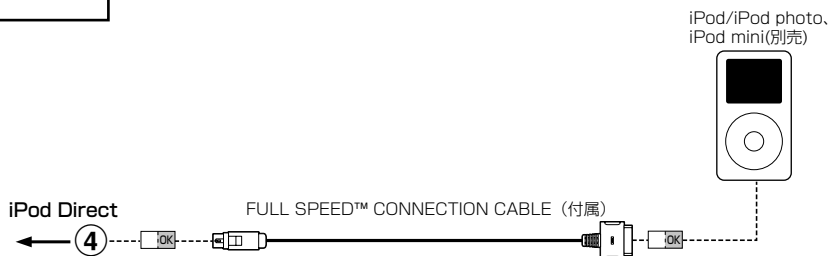
- 「サブウーハーを接続する」（22ページ）を参照してください。



※ローパスフィルター内蔵のアンプを使用してください。

3) 「iPod」 + 「FULL SPEED™ CONNECTION CABLE」を接続する

システムスイッチ	NORM
----------	------





取り付けと接続

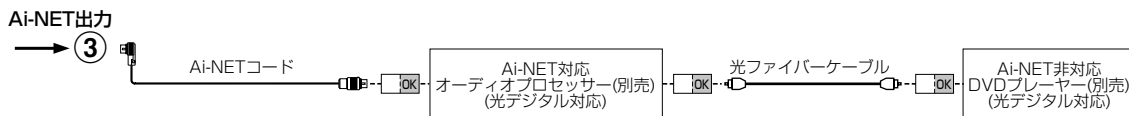
- 4) 「Ai-NET対応オーディオプロセッサー（光デジタル対応）（PKG-H701Sなど）」 + 「Ai-NET非対応DVDプレーヤー（光デジタル対応）（DVE-5207など）」を接続する

システムスイッチ	EQ/DIV
----------	--------



Memo

- 「光デジタル対応オーディオプロセッサーとAi-NET非対応のDVDプレーヤーを接続する」（23ページ）を参照してください。



- 5) 「Ai-NET対応イコライザー」 + 「チェンジャー」を接続する（外部アンプ使用時）

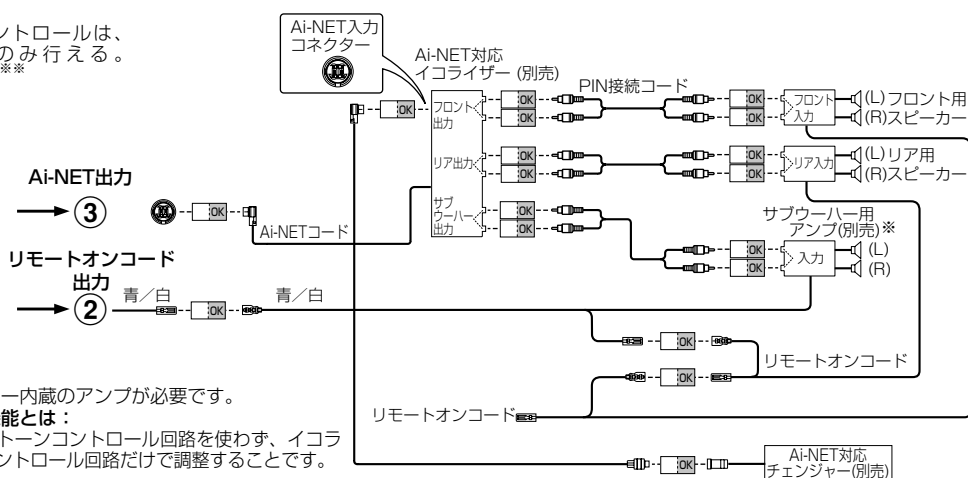
システムスイッチ	EQ/DIV
----------	--------



Memo

- チェンジャーのみを接続する（Ai-NET対応イコライザーを使わない）場合、システムスイッチは「NORM」に設定してください。

この場合、トーンコントロールは、イコライザー側でのみ行える。（トーンバイパス機能）**

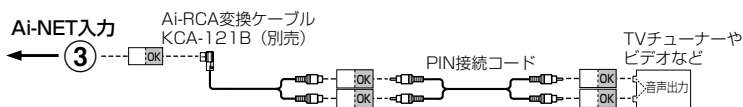


※ ローパスフィルター内蔵のアンプが必要です。

※※ トーンバイパス機能とは：ヘッドユニットのトーンコントロール回路を使わず、イコライザーのトーンコントロール回路だけで調整することです。

- 6) 外部入力にビデオなどを接続する

システムスイッチ	NORM
----------	------



Memo

- 「外部入力の設定」（24ページ）を参照してください。

- 組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- KCA-410C (Versatile Link Terminal) と組み合わせると、チェンジャー2台、テレビやビデオなど（外部入力）2台、計4台の製品を接続することができます。詳しくはKCA-410Cの説明書を参照してください。



故障かな？と思ったら

操作ミスや勘違いを故障と間違えていませんか？

接続・配線は正しく行われていますか？

下の表をもう一度ご確認ください。

それでも直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのお問い合わせ窓口（P38）にご相談ください。

● 操作中に停止したままになったり正常に動作しなくなった場合は、一度電源をOFF→ONしてください。それでも正常に動作しない時は、下表を参照して処置を行ってください。

共通部

動作しない。

ディスプレイに何も表示されない。

- ヒューズが切れている。
 - ・ 規定容量のヒューズと交換する。（→P32）
- 内部のマイコンが、ノイズなどの原因で誤動作してしまった。
 - ・ リセットスイッチをボールペンの先などで押す。（→P6）

電源が入るが音が出ない。

- 音量レベルが最小になっている。
 - ・ 音量レベルを上げる。（→P7）
- MUTEがONになっている。
 - ・ MUTEを解除する。（→P20）
- フェダーの設定が適切でない。
 - ・ 2スピーカーで聴くときは、スピーカーのバランスを前または後に設定する。（→P7）

記憶させた内容が消えてしまった。

- リセットスイッチを押した。電源コードまたはバッテリーをはずした。
 - ・ もう一度記憶する。（→P14、21）
- バッテリーコードの接続ミス
 - ・ 接続を確認する。（→P32）

ディスプレイが暗い。

- 気温が低いときは、電源を入れた後、しばらく暗いことがある。
 - ・ しばらく待つ。

サウンド調整ができない。

- ディフェルトがONになっている。
 - ・ ディフェルトをOFFにする。（→P7）

サブウーハーの音が出ない。

- サブウーハーの設定がOFFになっている。
 - ・ サブウーハーの設定をONにする。（→P22）
- サブウーハー出力レベル調整を行っていない。
 - ・ サブウーハー出力レベル調整を行う。（→P7）

CD部

ディスクが入らない。

- すでに別のディスクが入っている。
 - ・ ディスクを取り出してから入れ直す。

演奏が始まらない。／音がとぶ。／音が歪む。／早送り/早戻しができない。

- 車内温度が50℃以上ある。
 - ・ 車内温度を常温まで下げてから、演奏させる。
- ディスクに傷が付いている。
 - ・ ディスクがひどく汚れている。
 - ・ 録音状態が良くない。
 - ・ 音楽用ディスクでない。
 - ・ 本機対応のディスクでない。
 - ・ 他のディスクを再生してみる。
- 結露している。
 - ・ しばらく放置してから使う。
- ピックアップレンズが汚れている。
 - ・ メンテナンスをする。（お問い合わせ窓口へ）（→P38）
 - ・ レンズクリーナーを使用する場合は必ずアルバイン専用の「KAE-125C」（別売）を使用してください。

ディスクが勝手にイジェクトする。

- ディスクの側面／センターホールにバリがある。
 - ・ ボールペンなどで外側の縁をなぞって突起箇所を取り除く。



CD-R/CD-RWが再生できない。

- クローズセッション（ファイナライズ処理）を行っていない。
 - ・ クローズセッション（ファイナライズ処理）を行い、再度、試してみる。

MP3/WMAが演奏されない。

- 書き込みに失敗している／対応フォーマット以外で書き込まれている。
 - ・ 書き込みに失敗していないか確認する。または、「MP3/WMAについて」を参照し本機対応のフォーマットで書き込みを行う。（→P40）
- 作成したライティングソフトによっては再生できない場合がある。
 - ・ 他のソフトで試してみる。

ラジオ部

受信できない。

雑音が入る。

- アンテナが接続されていない。
 - ・ アンテナが確実に接続されているか確認する。
- アンテナが伸びていない。
 - ・ アンテナを伸ばす。
 - ・ パワーアンテナ/ブースターコードが接続されているか確認する。
- 放送局の周波数が合っていない。
 - ・ 周波数を正しく合わせる。（→P14）
- 周りに障害物などがあり、受信状態が良くない。
 - ・ 見通しが良いところに移動する。
- アースコードが接続されていない、ゆるんでいる。
 - ・ アースコードが接続されているか確認する。または、接続場所を変更する。

自動的に放送局が選べない。

- 電波の弱い地域にいる。
 - ・ ディスタンスモードまたはマニュアルモードで受信する。（→P14）

メッセージが表れたら… (CD部)

NO DISC	● ディスクが入っていない。 ・ ディスクを入れる。 ● ディスクは入っているが、「NO DISC」と表示され、演奏または、イジェクトができない。 ・ 次の方法でディスクを取り出す。 ①「 (OPEN)」を押す。可動ディスプレイが開く。 ②可動ディスプレイが開いた状態で「」を2秒以上押す。
HI TEMP	● 車内温度が高すぎる。 ・ 車内温度を常温まで下げる。
ERROR	● ディスク傷、ディスク汚れ。／録音状態が良くない。／音楽用ディスクでない。 ・ 「」を押して、ディスクを交換する。 ● メカニズムエラー。 ・ ①「」を押して、ディスクを取り出す。イジェクトできないときは修理ご相談窓口へ。 ②ディスクを取り出してもエラー表示が消えない場合は、もう一度「」を押す。 ③何度押してもエラー表示が消えない場合は修理ご相談窓口へ。
DISC TEXT	● テキスト (ディスク名) が入力されていない。 ・ CDテキスト (ディスク名) 対応のCDと交換する。
TRACK TEXT	● テキスト (曲名) が入力されていない。 ・ CDテキスト (曲名) 対応のCDと交換する。
NO SUPPORT	● 本機 (チェンジャー) で対応していない文字情報が入力されている。 ・ 本機で対応している文字情報が入力されたディスクを使用する。(本機では、「漢字」／「ひらがな」などは、表示されない。)
FOLDER	● フォルダ名表示モードにおいて、MP3/WMAファイルにフォルダ名が入力されていない。 ・ フォルダ名が入力されているMP3/WMAファイルを演奏する。
FILE	● ファイル名表示モードにおいて、MP3/WMAファイルにファイル名が入力されていない。 ・ ファイル名が入力されているMP3/WMAファイルを演奏する。
ARTIST	● MP3/WMAファイルにタグ情報 (アーティスト名) が入力されていない。 ・ タグ情報 (アーティスト名) が入力されているMP3/WMAファイルを演奏する。
ALBUM	● MP3/WMAファイルにタグ情報 (アルバム名) が入力されていない。 ・ タグ情報 (アルバム名) が入力されているMP3/WMAファイルを演奏する。
SONG	● MP3/WMAファイルにタグ情報 (曲名) が入力されていない。 ・ タグ情報 (曲名) が入力されているMP3/WMAファイルを演奏する。
NO FILE	● MP3/WMAディスクのフォルダ内にファイルが入っていない。 ・ フォルダ内にファイルが入っているディスクを入れる。または、フォルダ内にファイルが入っているフォルダを選択する。
PROTECT	● コピープロテクト (著作権保護) されているWMAファイルを演奏した。 ・ コピープロテクトされていないファイルを演奏する。
UNSUPPORTED	● 本機指定のMP3/WMAフォーマットで書き込みされていない。 ・ 本機指定のフォーマットで書き込みを行う。

メッセージが表れたら… (チェンジャー部 (オプション))

NO MAGZN	● マガジンがCDチェンジャーにセットされていない。 ・ マガジンをCDチェンジャーにセットする。
NO DISC	● ディスクが入っていない。 ・ ディスクを入れる。
HI TEMP	● 車内温度が高すぎる。 ・ 車内温度を常温まで下げる。
D TEXT	● テキスト (ディスク名) が入力されていない。 ・ テキスト (ディスク名) 対応のCD/MDと交換する。
T TEXT	● テキスト (曲名) が入力されていない。 ・ テキスト (曲名) 対応のCD/MDと交換する。
ERROR-01	● ディスクがマガジンに戻っていない。 ・ ①「」を押す。 ②空のマガジンを入れ、もう一度「」を押しディスクを回収する。 ● メカニズムエラー。 ・ ①「」を押す。 ②表示が消えたら、ディスクを入れ直したマガジンを再度挿入する。 ③それでも復旧しない…修理ご相談窓口へ。
ERROR-02	● ディスクがマガジンに戻っていない。 ・ ①「」を押す。 ②空のマガジンを入れ、もう一度「」を押しディスクを回収する。

メッセージが表れたら… (iPod™部 (オプション))

NO IPOD	● iPodが接続されていない。 ・ iPodが正しく接続されているか確認する。また、コードが極端に折れ曲がっていないか確認する。 ● iPodバッテリーの残量が少ない。 ・ iPodユーザーズガイドを参照して、iPodを充電する。
NO SONG	● iPodに曲 (ファイル) が入っていない。 ・ iPodに曲 (ファイル) を転送してから接続する。
NO SUPPORT	● 本機で対応していない文字情報が入力されている。 ・ 本機で対応している文字情報が入力された曲を再生する。(本機では、「漢字」／「ひらがな」などは、表示されない。)
ARTIST	● 曲 (ファイル) にタグ情報 (アーティスト名) が入力されていない。 ・ タグ情報 (アーティスト名) が入力されている曲 (ファイル) を演奏する。
ALBUM	● 曲 (ファイル) にタグ情報 (アルバム名) が入力されていない。 ・ タグ情報 (アルバム名) が入力されている曲 (ファイル) を演奏する。
SONG	● 曲 (ファイル) にタグ情報 (曲名) が入力されていない。 ・ タグ情報 (曲名) が入力されている曲 (ファイル) を演奏する。
ERROR-01	● 通信エラー。 ・ 一度イグニッションキーを「OFF」にしたら、もう一度「ACC」または「ON」にする。 ・ iPodとiPod接続ケーブルを接続しなおして表示を確認する。
ERROR-02	● 本機で対応していないiPodソフトウェア・バージョンである。 ・ 本機対応のiPodソフトウェア・バージョンにアップデートする。

規格

チューナー部

受信周波数	AM : 522~1,629kHz, FM : 76.0~90.0MHz
実用感度	AM : 22.5μV, FM : 0.8μV (75Ω) :9.3dBf (新IHF)
ステレオセパレーション	FM : 35dB以上
SN比	FM : 65dB以上
イメージ妨害比	FM : 80dB以上
IF妨害比	FM : 80dB以上

CD部

方式	光学式 (コンパクトディスク方式)
量子化ビット数	1ビット
チャンネル数	2チャンネル (ステレオ)
周波数特性	5Hz~20kHz (±1dB)
ダイナミックレンジ	95dB (1kHz) 以上
SN比	105dB (1kHz) 以上
高周波歪率	0.008% (1kHz) 以下
チャンネルセパレーション	85dB (1kHz) 以上
ワウフラッター	測定限界以下

一般

使用電源	DC14.4V (動作範囲 : 11~16V)
アース方式	マイナスアース
最大出力	45W×4
音声出力レベル	プリアウト : 2V/10KΩ (最大) (フロント/サブウーハー)
外形寸法	178 (幅) × 50 (高さ) × 162 (奥行) mm
重量	1.6 kg

Windows Media™およびWindows®ロゴは、米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。

Apple iPodは、米国および他の国々で登録されたApple Computer, Inc.の商標です。

MPEG Layer-3オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IISおよびThomsonから実施許諾されています。

本製品の供給は、収益を発生する放送システム、ストリーミングアプリケーション、その他のコンテンツ配信システム、または物理的媒体で、本製品で創作されたコンテンツを配信する権利を暗示するものでもありません。当該使用には、独立したライセンスが必要です。詳細に関しては、<http://mp3licensing.com>にアクセスしてください。

- 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本説明書のイラストは、印刷条件により、印象が異なる場合があります。
- 本書の一部または全部を無断で転載しないでください。

保証について

保証書について

- この製品には保証書が添付されています。お買上げの際、お受け取りください。
- 必ず「販売店印・お買上げ日」が記入されていることをご確認ください。
- 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

アフターサービスについて

- **調子が悪いとき**
まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- **それでも調子が悪いとき**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。お買い上げ店、または38ページの「お問い合わせ窓口」にあるお近くの修理で相談窓口にて、修理を依頼してください。

- **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。
- **保証期間経過後の修理**
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
- **補修用性能部品**
製造打ち切り後、最低6年間保有しています。
- **アフターサービスについての詳細**、その他ご不明な点はお買い上げ店、または38ページの「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。
- 一部の付属部品は補修部品も用意しています。部品を無くしたり壊したりしたときは、お買い上げ店にお問い合わせください。

(般)

(平成 18 年 1 月 15 日現在)

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談／お問い合わせは、お買い上げ店または下記の「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。



製品ご相談窓口

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター

<一般回線ご利用のお客様用>

TEL:0570-006636

※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。

<携帯電話等、移動体通信ご利用のお客様用>

TEL:048-662-6636



- 電話受付時間 土日祝日、
弊社休業日を除く 9:30~17:30
- 電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせをおすすめします。
FAX:048-662-6676
- アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>

営業所・販売店名	電話番号	住所	担当 都道府県
北海道エリア 札幌オフィス	011-621-4485	〒064-0821 北海道札幌市中央区北1条西22丁目2番1号 上野ビル	北海道全域
東北エリア 仙台オフィス 郡山オフィス 盛岡オフィス	022-239-5331 024-925-3811 019-664-1210	〒983-0031 宮城県仙台市宮城野区小鶴字羽黒104-1 〒963-8051 福島県郡山市富久山町八山田字土布池11番5号 〒020-0114 岩手県盛岡市高松4丁目2番2号 オリエント5ビル	宮城県 / 山形県 / 秋田県 福島県 青森県 / 岩手県
北関東エリア 北関東オフィス 松本オフィス 新潟オフィス	048-664-7701 0263-48-4772 025-257-8680	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2丁目7番2号 〒390-0852 長野県松本市島立830番地の11 深澤ビル102号 〒950-0852 新潟県新潟市石山1丁目3-6 エクセレント石山	東京都北・西部 / 埼玉県 / 群馬県 / 栃木県 長野県 / 山梨県 新潟県
東関東エリア 東関東オフィス	03-5666-5226	〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町2-406-1	東京都東部 / 千葉県 / 茨城県
南関東エリア 南関東オフィス	045-541-7261	〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1767番地 アルプス電気横浜事業所内5F	東京都中・南部 / 神奈川県 / 静岡県(大井川以東)
中部圏エリア 中部オフィス 北陸オフィス	052-779-5655 076-240-8111	〒465-0021 愛知県名古屋市中区東区猪子石3丁目108 〒921-8066 石川県金沢市矢木3丁目72番1号	愛知県 / 三重県 / 岐阜県 / 静岡県(大井川以西) 石川県 / 富山県 / 福井県
近畿圏エリア 大阪オフィス	06-6386-4136	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号	大阪府 / 奈良県 / 和歌山県
中四国エリア 岡山オフィス 広島オフィス 高松オフィス	086-243-8257 082-846-1175 087-869-3086	〒700-0975 岡山県岡山市今4丁目5番2号 〒731-0138 広島県広島市安佐南区祇園2丁目11番16号 〒761-8071 香川県高松市伏石町1473-11	岡山県 / 鳥取県 / 島根県 / 広島県 / 山口県 徳島県 / 香川県 / 愛媛県
九州エリア 福岡オフィス 長崎オフィス	092-452-8870 095-727-1581	〒816-0093 福岡県福岡市博多区那珂3丁目23番2号ヒロタビル7号 〒854-0074 長崎県諫早市山川町3の13	福岡県 / 大分県 / 佐賀県 / 熊本県 / 鹿児島県 / 宮崎県 / 沖縄県 長崎県
アルパイン京都販売(株)	075-351-6406	〒600-8480 京都府京都市下京区五条通堀川東入小泉町113番地の1	京都府 / 滋賀県
アルパイン兵庫販売(株)	0794-54-6123	〒675-0067 兵庫県加古川市加古川町河原133の1	兵庫県
マークエンタープライズ(株)	088-884-6800	〒780-8122 高知県高知市高須新町3丁目10番8号	高知県

修理ご相談窓口

問い合わせ窓口	電話番号	住所	管轄エリア
アルパインカスタマーズサービス(株) 東日本サービスセンター	048-664-9711	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2-7-2	北海道 / 青森県 / 岩手県 / 秋田県 / 山形県 / 宮城県 / 福島県 / 栃木県 / 茨城県 / 群馬県 / 東京都 / 神奈川県 / 埼玉県 / 千葉県 / 新潟県 / 長野県 / 山梨県
アルパインカスタマーズサービス(株) 西日本サービスセンター	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号	静岡県 / 愛知県 / 三重県 / 岐阜県 / 福井県 / 富山県 / 石川県 / 滋賀県 / 京都府 / 大阪府 / 和歌山県 / 奈良県 / 兵庫県 / 岡山県 / 鳥取県 / 島根県 / 山口県 / 香川県 / 愛媛県 / 徳島県 / 高知県 / 福岡県 / 佐賀県 / 大分県 / 熊本県 / 長崎県 / 鹿児島県 / 宮崎県 / 沖縄県

修理ご相談窓口

名 称	電話番号	住 所
北海道		
西島家電商事札幌店	011-762-0458	〒001-0925 札幌市北区新川5条2丁目3-18
北欧電子(株)	011-861-2414	〒063-0033 札幌市西区西野3条3丁目5番地1号
輪島電装(株)	0138-48-8181	〒041-0824 函館市西栢根町168番地の2
千代田電装工業(株)	0166-22-8451	〒070-0034 旭川市四来通2丁目左8-9-10
(有)北網通信特機	0157-61-3843	〒090-0058 北見市高米西町6丁目4番4号
青森県		
(有)三原電装	0178-29-4410	〒039-1163 八戸市高州2丁目23-16
岩手県		
(有)交通電機商事	0196-87-1561	〒020-0172 岩手郡滝沢村鶴崎字上高柳64
秋田県		
管電装	0188-68-2761	〒010-0802 秋田市外旭川字鳥谷場212-2
山形県		
カーサウンドサイター	0236-24-8953	〒990-2321 山形市桜田西3丁目4-7
(有)山王電子サービス	0234-22-1832	〒998-0841 酒田市松原南21-4
宮城県		
(株)日本電機サービス(仙台)	022-254-4531	〒983-0005 仙台市宮城野区福室字産興35
(有)ササキサウンド	022-348-3633	〒981-3341 黒川郡富谷町成田2丁目3-3 松下ベンチャーラボ102号
(合)佐々木電化商会	022-362-4332	〒985-0045 塩釜市西玉川111-20
大苗代電機	0225-22-4996	〒986-0833 石巻市日和ヶ丘4-1-10
フジ電装	0229-23-8266	〒989-6143 古川市中里1丁目12番5号
福島県		
(有)長南電機	0245-45-5161	〒960-8153 福島市黒岩堂の後51-1
芳広通信特機サービス	0249-43-5876	〒963-0101 郡山市安積町日出山1丁目95-3
エンドー電機システムズ	0249-52-8417	〒963-8035 郡山市希望ヶ丘10-20
(株)オートデンソーマルヤマ (郡山店)	024-945-5388	〒963-0111 郡山市安積町荒井字八丁5-2
(会津支店)	0242-24-1717	〒965-0025 会津若松市扇町101
(白河店)	0248-23-4555	〒961-0076 白河市五番町川原50番地の1
茨城県		
(株)日本電機サービス(茨城)	0292-47-3231	〒310-0844 水戸市住吉町64
(株)デンソー東京(水戸千波支店)	0292-43-0516	〒310-0851 水戸市千波町2345-13
栃木県		
(株)日本電機サービス(栃木)	028-648-6291	〒320-0851 宇都宮市鶴田町1362-2
サウンドサービス	028-653-8623	〒321-0131 宇都宮市宮の内1-173-38
群馬県		
(株)日本電機サービス (北関東)	0276-46-5885	〒373-0818 太田市小鼻木町377
長野県		
恵田電子サービス	0263-53-6723	〒399-0705 塩尻市広丘壱石2146-339
新潟県		
(有)ムツミ電装	025-285-1919	〒950-0964 新潟市綱川原2-43-6
(株)丸山電機	0258-27-0009	〒940-2112 長岡市大島本町5-118-10
東京都		
アース電機(株)	03-3758-7821	〒146-0095 大田区多摩川12-9-17
アライ電機産業(株)	03-3925-1602	〒179-0075 練馬区高松6-33-14
(株)日本電機サービス(東京)	03-3395-3681	〒167-0042 杉並区西荻北1-8-20
(有)キャリアサービス	03-3671-7001	〒124-0021 葛飾区細田3-3-4
三共無線(有)目黒営業所	03-3719-3525	〒153-0042 目黒区青葉台1-27-15
(有)テクニカルサービス	03-3558-7008	〒115-0051 北区浮間2-6-10
(株)日本電機サービス(本社)	0425-58-7773	〒197-0803 あきる野市瀬戸岡255
叶電機	0425-51-9350	〒197-0011 福生市福生2241番地 P108号
ALサンライズ	0428-32-6977	〒198-0024 青梅市新町5-3-2
神奈川県		
(株)日本電機サービス (神奈川)	045-953-2510	〒241-0031 横浜市旭区今宿西町255
関東電子サービス(株)	045-934-9091	〒226-0023 横浜市緑区小山町292-7
(株)エルエレクトロ	045-242-0029	〒220-0022 横浜市西区花咲町4丁目116番地
埼玉県		
(株)日本電機サービス(埼玉)	048-651-2327	〒330-0033 さいたま市本郷町1135-1
千葉県		
(株)日本電機サービス(千葉)	043-216-0580	〒262-0003 千葉市花見川区宇部谷町1501-1
静岡県		
(株)日本電機サービス(静岡)	054-247-2522	〒420-0804 静岡市電南1-16-1
三和電子サービス(株)	053-448-8551	〒432-8061 浜松市入野町9156

(般)

名 称	電話番号	住 所
愛知県		
(株)日本電機サービス (名古屋)	052-702-1071	〒465-0067 名古屋市東区猪苗町 大字福針字メクソ10-1
(株)センターコバヤシ	052-881-3400	〒466-0059 名古屋市昭和区福江3丁目1-40
名陽電機(株)	052-761-5306	〒466-0853 名古屋市昭和区川原通1-2
名電機器商会	052-241-9797	〒460-0007 名古屋市中区新栄3-11-24
渡辺電機商会	052-914-3321	〒462-0023 名古屋市中区安井1-11-1
牧サービス電機	052-793-6844	〒463-0081 名古屋市守山区川宮町394-1
(有)前田電機	052-561-5110	〒451-0051 名古屋市西区則武新町2丁目25番地6号
(有)サカタ電機	052-805-7887	〒468-0031 名古屋市天白区高宮町1605番地2
(有)横井計器	0562-48-5223	〒474-0072 大府市北山町4丁目77番地
フジサウンド(株)	0587-55-8511	〒483-8222 江南市赤童子町藤宮41
三重県		
FIX	0593-80-3134	〒510-0244 鈴鹿市白子町字北新田1896-1
(有)今尾電機	0593-82-1287	〒513-0816 鈴鹿市南玉垣町5434-1
富山県		
ナカノ商会	0766-54-1585	〒939-0413 射水市大門町車田1268
石川県		
辰口電機	0761-51-2498	〒923-1201 能美郡辰口町岩内口75-2
福井県		
(株)パーメンテサービス	0776-35-8182	〒918-8015 福井市花堂南1丁目5-4
滋賀県		
滋賀オーディオサービス	0748-55-2070	〒529-1541 蒲生郡蒲生町蒲生堂338-78
京都府		
洛西電子	075-331-4847	〒610-1153 京都市西京区大原野南春日町388
電装整備(株)	075-821-5843	〒602-8365 京都市上京区丸太町御前通上ル
ヤハタ電気	0774-21-5736	〒611-0013 宇治市菟道谷下り8番地の1 Ⅱ-303
大阪府		
(株)日本電機サービス(関西)	06-6827-0601	〒533-0001 大阪市東淀川区井高野4丁目6-27
サンコーオーディオ	06-6768-0697	〒540-0005 大阪市中央区上町1丁目11-3 第2清水谷ビル1F
タツミ電気商会	06-6573-3605	〒552-0007 大阪市港区弁天3-1-4
フジオオーディオサービス	0722-23-8695	〒590-0074 堺市花田町1丁目1-2-27
和歌山県		
ミナト電機商会	0734-23-0681	〒640-8251 和歌山市南中間町48
奈良県		
エルバック(株)	0742-36-8700	〒630-8132 奈良市大森西町21-26
兵庫県		
ニシオサービス	078-652-1099	〒652-0873 神戸市兵庫区金平町1丁目32-9
兵庫電子サービス	078-652-3646	〒652-0834 神戸市兵庫区本町1丁目1-8 浅沼マンション1F
(株)細道電子	078-302-6615	〒650-0046 神戸市中央区港島中町3丁目2-1
太子電器	0792-77-3703	〒671-1523 揖保郡太子町東南字小川1647-3
岡山県		
中田電器	086-263-9146	〒702-8058 岡山市並木町2丁目8-17
大熊電機	086-422-6460	〒719-1173 都窪郡清音村黒田14
広島県		
(有)北洋電子	082-291-6537	〒733-0012 広島市西区中広町2丁目23番4号
(有)仲栄サービス	0849-31-3761	〒721-0966 福山市手城町1丁目2-31
香川県		
(有)松岡電機サービス	087-843-1040	〒761-0102 高松市新田町甲470-11
愛媛県		
(有)増田電機サービス	0899-57-3174	〒791-1112 松山市南高井町1982-3
徳島県		
みの電子パーツ(株)	088-655-5958	〒770-0804 徳島市中吉野町2丁目18-2
高知県		
(株)シキデン	0888-83-5101	〒780-0056 高知市北本町3-10-39
福岡県		
(株)日本電機サービス(福岡)	092-441-7858	〒816-0092 福岡市博多区東那珂2丁目14-26-1
中元電器	0948-22-4830	〒820-0011 飯塚市大字柏の森13-67
久留米音響サービス	0942-21-3781	〒830-0052 久留米市上津町1651-2
佐賀県		
佐賀テクニカルサービス	0952-33-5343	〒849-0932 佐賀市鍋島町大字八戸溝1252-13
大分県		
碩田電機サービス	0975-67-1967	〒870-0927 大分市北下郡11組の7
熊本県		
大堀電機	096-372-1403	〒860-0811 熊本市本庄2-3-22
長崎県		
島原無線	0957-64-0821	〒855-0801 島原市高島2-7208
(有)野中電機	0956-58-6494	〒859-3241 佐世保市有福町576-1

MP3/WMAについて

注意：

個人で楽しむ以外は、オーディオデータ（MP3/WMAデータ含む）を著作権者に無断で複製し、有料無料を問わず配布、転送、転載することは著作権法や国際協定で固く禁じられています。

MP3とは？

正式には「MPEG-1 Audio Layer3」といい、国際標準化団体のISOとIECの共同活動機関であるMPEGが定めた圧縮規格です。MP3は音声データを圧縮した音声ファイルで、サウンドデータを非常に高い圧縮率で圧縮することができます。また、CDクオリティに近い音質を実現しても約1/10の圧縮率を得ることができます。（サンプリング周波数44.1kHz、ビットレート128kbpsの場合）このような高圧縮率を実現しているMP3フォーマットは、人には聴き取れない音を消すことなどにより高圧縮を実現しています。

WMAとは？

WMAまたは「Windows Media™ Audio」は、圧縮されたオーディオデータです。WMAはMP3オーディオデータと同様に小さいファイルサイズでCD同等の音質を実現しています。

MP3/WMAへ圧縮する方法

MP3/WMA専用ソフトを使い圧縮します。詳しくは専用ソフトの説明書を参照願います。

また、本機で再生可能なMP3/WMAファイルは、拡張子が「mp3」/「wma」です。（WMAはVer.7.1、8、9に対応）

再生可能なサンプリングレート・ビットレート

サンプリングレート

MP3：8kHz、11.025kHz、12kHz、16kHz、22.05kHz、24kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz

WMA：32kHz、44.1kHz、48kHz

ビットレート

MP3：8kbps～320kbps、WMA：48kbps～192kbps

ただし、サンプリングレートによっては、本機の表示（16ページ）で正しく表示されない場合があります。また、サンプリングレートによっては正常に再生されない場合があります。

上記記載以外は動作を保証致しかねます。

ID3タグ/WMAタグについて

ID3タグは、ID3 Tag v1、v2に対応しています。

MP3/WMAファイルにタグ情報が入っていれば、タイトル（曲名）、アーティスト名、アルバム名のタグ情報を表示できます。

本機で表示可能な文字は半角の英数、—（アンダーバー）のみ（半角30文字（WMAはUnicode15文字）まで）です。

• ひらがな／カタカナ／漢字には対応していません。

対応文字以外の場合、「[NO SUPPORT]」が表示されます。

MP3/WMAディスクを作成するには

MP3/WMAファイルを用意し、CD-Rライティングソフトを利用して、CD-R・CD-RWメディアに書き込みます。

ファイル／フォルダ数（ルートフォルダを含めて）は、合わせて510個までです。（最大フォルダ数は255個です）ただしライティングソフトによっては再生できない場合があります。

MP3作成ソフトの1部にはライティングソフトが同梱されているものもあります。このようなソフトを使用した場合、本機で再生ができない場合があります。このような場合は他のライティングソフトを使用してMP3フォルダ（ファイル）のみを記録してください。

対応メディア

再生できるメディアは、CD-ROM、CD-R、CD-RWです。

対応ファイルシステム

ISO9660レベル1、レベル2でフォーマットされたディスクに対応しています。

ISO9660規格では、フォルダのディレクトリ階層（最大8階層）やフォルダ／ファイル名の文字数、フォルダ／ファイル名で使える文字（A～Z、0～9、—（アンダーバー））などの制限があります。

また、Romeo、JolietなどのISO9660準拠であれば、再生は可能です。ただし、ファイル名／フォルダ名などは正しく表示されない場合があります。

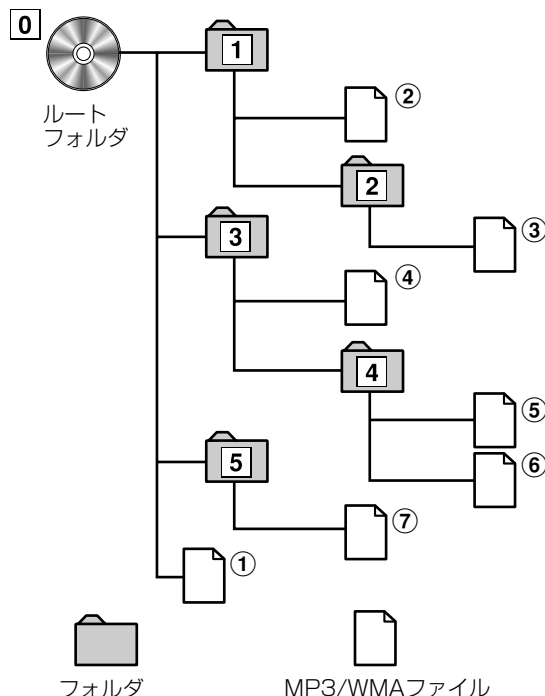
対応フォーマット

CD-ROM、CD-ROM XA、Mixed Mode CD、Enhanced CD（CD-Extra）、及びマルチセッションに対応しています。但し、Track At Onceやパケットライトで作成されたCDの場合、正常に再生できません。

演奏される順番

演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。

下図のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでの演奏順は次の通りです。（実際に表示される番号ではありません）



用語説明

ビットレート

エンコードするときに指定する「音」の圧縮率で、ビットレートが高いほど高音質になるが、ファイルサイズも大きくなる。

サンプリングレート

データを1秒間に何回サンプリング（記録）するかを示す値のこと。たとえば、音楽CDは44.1kHzで、1秒間にデータを4万4100回サンプリング（記録）していることになります。高ければ高いほど音質は向上しますが、それだけデータ量も増えます。

エンコード

音楽CDやWAVEファイルなどの音声ファイルを、特定の音声圧縮フォーマットに変換すること。

タグ

曲名やアルバム名、アーティスト名など、MP3/WMAファイルに書き込まれた楽曲情報。（MP3：ID3タグ、WMA：WMAタグ）

ルートフォルダ

ファイルシステムの最上階層のフォルダ。全てのフォルダ／ファイルはルートフォルダに含まれています。

索引

五十音順

あ 行	
アーティスト名から探す	27
アーティスト名表示	16, 29
アルバム名から探す	27
アルバム名表示	16, 29
インジケータ表示について	17
エンコード	40
音量/バス/トレブル/バランス/フェダー/ ディフートの調整	7
音量調整モード	7

か 行	
外部アンプを接続する	23
外部入力の設定	24
外部割り込みモードの設定	25
記憶した放送局を受信する	15
聴きたい曲を探す (iPod)	26
規格	37
曲順を変えて聴く (CD)	8
曲順を変えて聴く (iPod)	28
曲順を変えて聴く (MP3/WMA)	12
曲名から探す	27
曲名表示	16, 29
クイックサーチ (CD)	9
クイックサーチ (iPod)	28
クイックサーチ (MP3/WMA)	11
繰り返し聴く (CD)	9
繰り返し聴く (iPod)	29
繰り返し聴く (MP3/WMA)	12
高音を強調する	19
故障かな?と思ったら	35

さ 行	
再生可能なサンプリングレート・ビットレート	40
サブウーハーシステムの設定	22
サブウーハー出力レベル調整	7
サブウーハーを接続する	22
サンプリングレート	16, 40

システムスイッチ	31
時刻を設定する	21
時刻を表示する	20
自動的に放送局を記憶する	14
照光スイッチの色を切りかえる	21
スクロールタイプの設定	17
スクロールとは	16
スクロールの設定	17
セットアップ (SETUP) について	7

た 行	
対応ファイルシステム	40
対応フォーマット	40
対応メディア	40
タグ	40
チェンジャーでMD/CDを聴く	13
低音を強調する	18
ディスタンスモード	14
ディスプレイの明るさ調整	20
ディスプレイの開閉	6
テキスト/スクロールとは	16
テキストとは	16
テキスト表示	16
テキストを表示する (CD/MP3/WMA/TUNER)	16
テキストを表示する (iPod)	29
デモンストレーション機能	21
電源のON/OFF	6
道路交通情報を受信する	15
トラフィックインフォメーション	15
取り付けと接続	30
トレブルセンター周波数	19
トレブル (高音) レベル調整モード	7

索引

は 行

バスセンター周波数	18
バス（低音）レベル調整モード	7
バランス調整モード	7
光デジタル対応オーディオプロセッサと Ai-NET非対応のDVDプレーヤーを接続する	23
ビットレート	16, 40
ファイルサーチ	11
ファイルNo.表示	10, 16, 20
ファイル名表示	16, 20
フェダー調整モード	7
フォルダサーチ	11
フォルダNo.表示	10, 16, 20
フォルダ名表示	16, 20
フォルダ/ファイルサーチ	11
フォルダを選択する	10
プレイリスト/アーティスト/アルバムを選ぶ	28
プレイリストから探す	26
放送局（周波数）から探す	15
放送局を記憶する	14

ま 行

マニュアルモード	14
ミックス（CD）	8
ミックス（iPod）	28
ミックス（MP3/WMA）	12
ミュートのON/OFF	20

ら 行

ラジオを聴く	14
リセットする	6
リピート（CD）	9
リピート（iPod）	29
リピート（MP3/WMA）	12
ローカルモード	14

アルファベット／数字

A to Z

BBEモードの設定	18
CDテキストから探す	9
CDを聴く	8
DRM	10
DX SEEK	14
ID3タグ/WMAタグについて	40
iPod™の曲を聴く	26
M.I.X.（CD）	8
M.I.X.（iPod）	28
M.I.X.（MP3/WMA）	12
MP3とは？	40
MP3/WMA再生データの設定	11
MP3/WMAディスクを作成するには	40
MP3/WMAについて	40
MP3/WMAへ圧縮する方法	40
MP3/WMAを聴く	10
MUTE	20
PLAYLIST	26
REPEAT（CD）	9
REPEAT（iPod）	29
REPEAT（MP3/WMA）	12
SEEK	14
SETUP	7
TRF	15
WMAとは？	40

[illegible]

お客様へ



このたびは、アルパイン製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご愛用者WEBアンケートにご協力ください

弊社ではお客様により満足いただける製品を目指して、お客様のご意見を伺うアンケートを実施しています。

お手数ですが、以下のインターネット ウェブサイト（弊社ホームページ内）にてご回答下さいますようお願い申し上げます。

尚、回答者の個人情報を弊社以外で利用することはございません。

<https://secure.alpine.co.jp/ps/>

質問事項すべてに回答して下さった方の中から抽選で粗品をお送り致します。
（なお、発表は発送をもってかえさせていただきます）

◆アルパイン個人情報保護方針◆

1. 個人情報の利用目的

お客様の個人情報は、以下のような目的で利用されます。

- ・ 郵送及び電子メールによるお知らせやアンケートの発信。
- ・ アンケートのご回答やプレゼント応募に対する景品・商品等の発送。
- ・ お問合せに対する連絡・確認。

2. 個人情報の開示について

当社は、お客様からご提供を頂いた個人情報を適切に管理します。当社は、以下のいずれかに該当する場合を除いて、お客様の個人情報を第三者に開示することは原則としていたしません。

- ・ お客様の同意がある場合。
- ・ お客様に明示した目的を実施するために、当社の業務委託先に開示する必要がある場合。尚、その場合当社は業務委託先に対して機密保持契約を締結する等の方法により、その業務委託先からの漏洩、再提供の防止を図ります。
- ・ お客様を識別することができない状態で開示する場合。

重要

- オーディオプロセッサー（PKG-H701S など）と組み合わせる場合には、システムスイッチの切りかえが必要になります。
- 正しい切りかえを行わないと、爆音など、不具合が発生します。
- 詳しくは、「スイッチ切りかえについて」（31ページ）を参照してください。

